

社会福祉法人 津山福社会

令和3年度 事業報告

「人が好きだから 一生けんめい」

【 行動指針 】

津山福社会の事業に従事する職員は、津山福社会の理念に基づき次の事項を実践します。

- ・ ご利用者を選びません。
- ・ ご利用者を大切に、権利擁護に努めます。
- ・ お一人お一人の満足を目指します。
- ・ 自己の提供するサービスに責任を持ちます。
- ・ 自己の研鑽に努めます。
- ・ 地域を大切に、地域にお住いの高齢者の方、家族の方のご相談に親切に応じます。

▶ 重点項目

- ＊ 地域共生社会の実現に向けた地域づくり
- ＊ ターミナルステージを含む高齢者の自立した生活を支援する高い専門性
- ＊ 地域との連携
- ＊ イノベーション ～社会福祉・介護における新たな価値の創造～
- ＊ 地域と協働した災害体制の構築
- ＊ 高寿園としての持続可能な開発目標（SDGs）の設定

▶ サービスの質の向上

- ＊ 看取りケア指針の見直しと多職種協働によるケアとその評価システムの構築
- ＊ 経口維持等高齢者の自立の支援に資するケア
- ＊ 介護過程の展開に沿った根拠に基づくケア
- ＊ 個別のニーズの把握と支援計画に基づく多職種協働
- ＊ 担当指導者を中心としたグループによるきめ細かな新任者育成
- ＊ 育成担当者、リーダー等役割毎の成果の検証
- ＊ 円滑なサービス提供体制についての定期的な協議
- ＊ 事業実施状況及び経営状態の把握と課題の検討
- ＊ 研修の実施、受講、資格取得支援

▶ 地域との連携

- ＊ 地域への情報発信
- ＊ 公開講座、出前講座
- ＊ 交流ホールを活用した地域交流事業の実施
- ＊ 「運営推進協議会」の設置（地域住民の参加要請等）

▶ 生活支援事業

- ＊ 生活支援サポーター養成事業
- ＊ 地域のニーズ把握と生活支援サポーターのマッチング
- ＊ リエゾンソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）の配置
- ＊ 生活支援サポーター養成事業関連における他事業所との連携推進

○ 介護保険事業

新型コロナウイルスのまん延は、介護サービスの提供、従事するスタッフをとりまく環境、入居者・利用者の暮らしに大きな変化をもたらしました。そのような中、国や自治体、関係団体からの通達等に則り迅速に命と暮らしを守るルール作りを行い、安全な介護サービスの提供を継続しました。

ユニット型特別養護老人ホーム 80床 ユニット型短期入所生活介護 19床
 地域密着型通所介護 定員10名
 ふれあい交流通所サービス 定員10名 元氣いきいき通所サービス 定員10名
 生活支援サポーター訪問サービス

《特別養護老人ホーム》

【運営方針】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。

住み慣れた地域で最期まで、その人らしく、生活できる援助を行います。

- * 個々の利用者がそれぞれの「暮らし」が継続できる「ユニットケア」を行います。
- * 個別化を重視し、個々の自己実現に対し積極的にアプローチを行います。
- * ご利用者個々の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- * 地域に親しまれる施設作りを目指し、地域と密着した事業・サービスを提供します。

* 職員配置（令和4.3.31）

職 名	人 数	職 名	人 数
施設長	1	管理栄養士	1.6
生活相談員	1.7	調理員	4.5
介護士	38.3	栄養士	(1)
介護福祉士	(28.3)	作業療法士	1
看護職員	4.5	歯科衛生士	0.2
看護師	(3.7)	事務員	6.4
准看護師	(0.8)	運転手・環境整備員	2.6
介護支援専門員	2		

※人数は常勤換算により計算

() は再掲

* 医療連携

・ 嘱託医

大海 庸世 （おおみクリニック） 隔週 水曜日回診
 松下 明 （奈義ファミリークリニック） 隔週 水曜日回診
 平井 龍三 （勝北診療所） 隔週 金曜日回診

・ 産業医

大海 庸世 （おおみクリニック）

・ 協力医師

赤枝 輝明 （津山東クリニック ： 内科、泌尿器科）

・ 協力医療機関

積善病院 （精神科、神経科、内科、歯科）
 津山第一病院 （消化器科、循環器科、整形外科等）
 近光整形外科 （整形外科）
 日本原病院 （内科、神経内科、循環器内科等）

・ 協力歯科医療機関

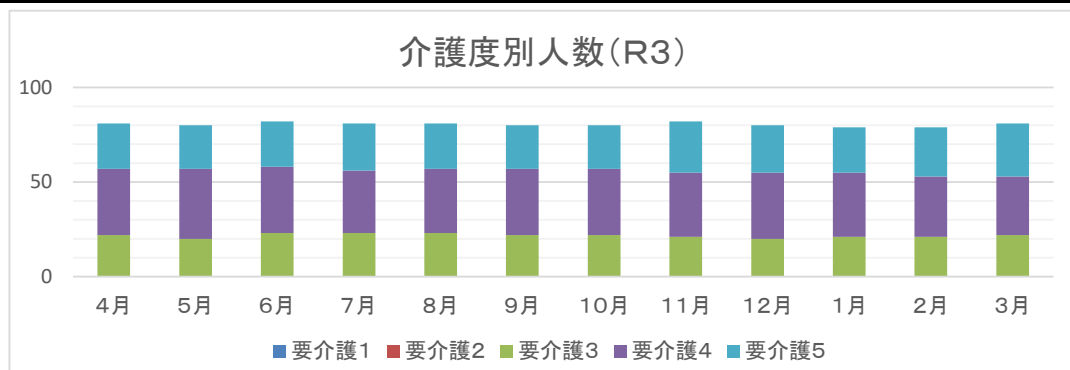
内田歯科クリニック

* リーガルサポート

竹内俊一弁護士事務所
 神田労務コンサルティング
 税理士法人 LEGARE

* 入居者状況 (延べ日数：入院日は含まず、退院日を含む)

提供年月日	入居実延べ日数(上段)／人数(下段)						外泊,入院等	
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ日数	人数
令和3年4月	0	0	630	954	730	2,314	71	5
	0	0	21	33	26	80		
5月	0	0	651	985	711	2,347	124	8
	0	0	21	33	26	80		
6月	0	0	592	893	717	2,202	167	10
	0	0	20	34	25	79		
7月	0	0	639	997	689	2,325	69	3
	0	0	21	34	24	79		
8月	0	31	589	962	763	2,345	45	3
	0	1	19	34	26	80		
9月	0	30	543	954	758	2,285	30	3
	0	1	19	36	27	83		
10月	0	31	558	1,065	707	2,361	91	5
	0	1	18	37	24	80		
11月	0	30	566	1,071	674	2,341	34	3
	0	1	20	37	23	81		
12月	0	31	573	1,137	674	2,415	39	5
	0	1	20	37	22	80		
令和4年 1月	0	31	535	1,135	673	2,374	82	4
	0	1	18	39	22	80		
2月	0	28	504	1,029	578	2,139	50	5
	0	1	18	39	22	80		
3月	0	31	496	1,238	634	2,399	97	6
	0	1	16	42	21	80		
合 計	0	243	6,876	12,420	8,308	27,847	899	60
	0	8	231	435	288	962		



市町村別 (R4.3.31現在)

市町村名	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
津山市	0	1	15	32	20	68
鏡野町	0	0	0	6	0	6
美作市	0	0	1	2	0	3
奈義町	0	0	0	1	0	1
勝央町	0	0	0	1	0	1
倉敷市	0	0	0	0	1	1
合計(5市町村)	0	1	16	42	21	80

月別入・退居者数

令和2年度末現員	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	令和3年度末現員
80	入居	2	2	0	3	5	4	2	4	0	2	2	2	28	80
	退居	2	2	3	4	2	5	1	3	1	2	3	0	28	

年齢と性別 (R4.3.31現在)

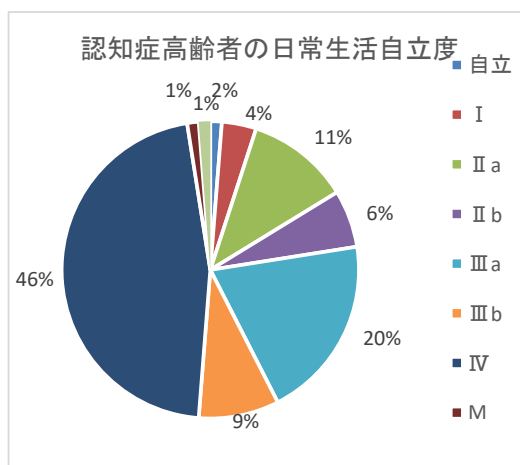
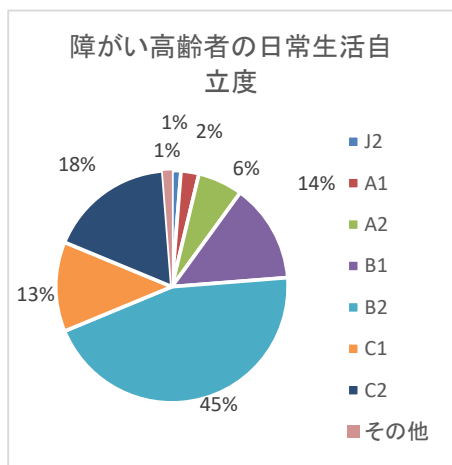
	60歳未満	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100歳以上	合計	平均年齢
男性	0	0	0	4	1	4	5	4	0	0	18	82.8
女性	0	0	0	0	2	8	15	19	15	3	62	90.7
合計	0	0	0	4	3	12	20	23	15	3	80	89

障がい高齢者の日常生活自立度 (R4.3.31現在)

	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
人数	0	3	5	9	37	16	10	80

認知症高齢者の日常生活自立度 (R4.3.31現在)

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
人数	1	2	5	5	24	6	36	1	80



入居者介護状況（日常生活動作）

日常生活動作			人数	日常生活動作			人数
移動	車椅子		68	排泄	おむつ		22
	歩行（補助具あり）		9		トイレ（夜間おむつ）		45
	歩行		3		トイレ（常時）		13
食事	全介助		13	入浴	特浴		18
	一部介助		21		中間浴		25
	自立		42		個浴		37
	経管栄養		4				

在所期間 (R4.3.31現在)

	1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～	合計	平均在所 期間
男	7	6	3	2	0	18	2年3ヶ月
女	16	22	14	10	0	62	2年11ヶ月
合計	23	28	17	12	0	80	2年9ヶ月

退居者内訳（性別）

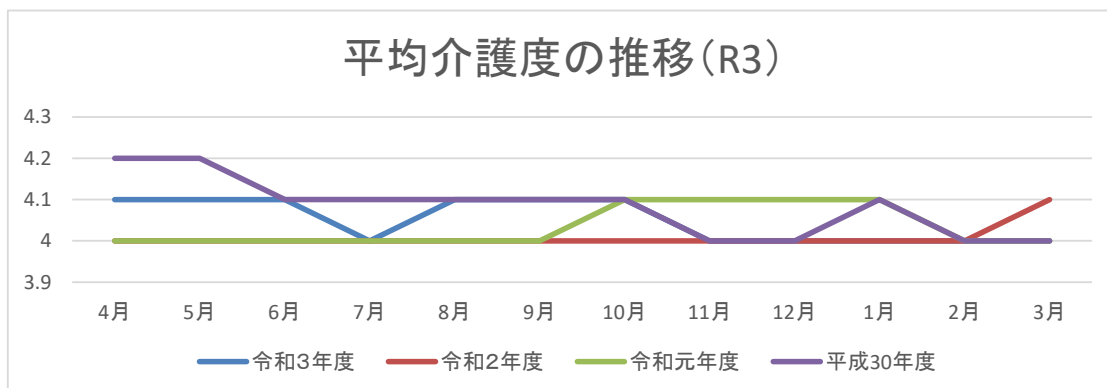
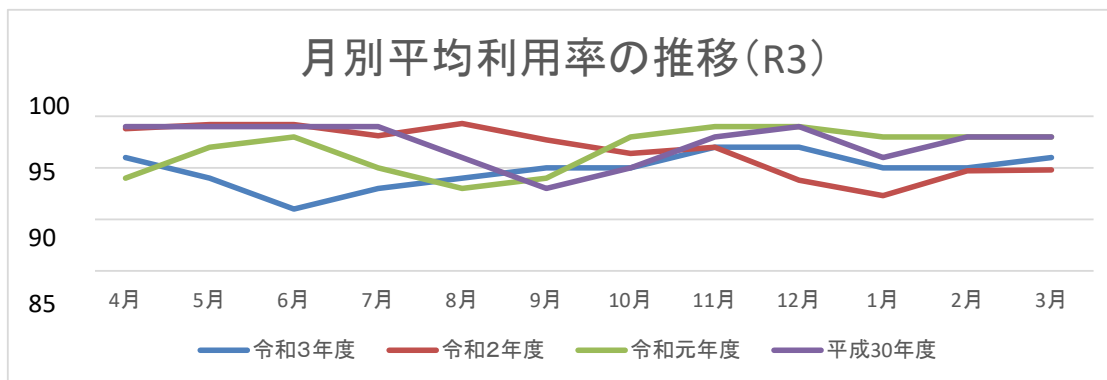
男性	女性	合計
6	22	28

退居者内訳（区分）

死亡	入院	在宅	他施設	合計
22	5	1	0	28

退居者（死亡者）内訳

老衰	心不全	癌	誤嚥性肺炎	呼吸不全	吐血による窒息	合計
14	1	3	2	1	1	22



《短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護》

【運営方針】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。

在宅生活の継続に向け、その人に合わせた自立の支援を行います。

- * 個々のご利用者がそれぞれの「暮らし」が継続できる「ユニットケア」を行います。
- * 個別ケアを重視し、残存能力の活用及び維持に向け積極的にアプローチを行います。
- * ご利用者個々の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- * 他機関と連携し介護負担の軽減に向けて積極的な受け入れに努めます。
- * ショート職員配置 (R4.3.31)

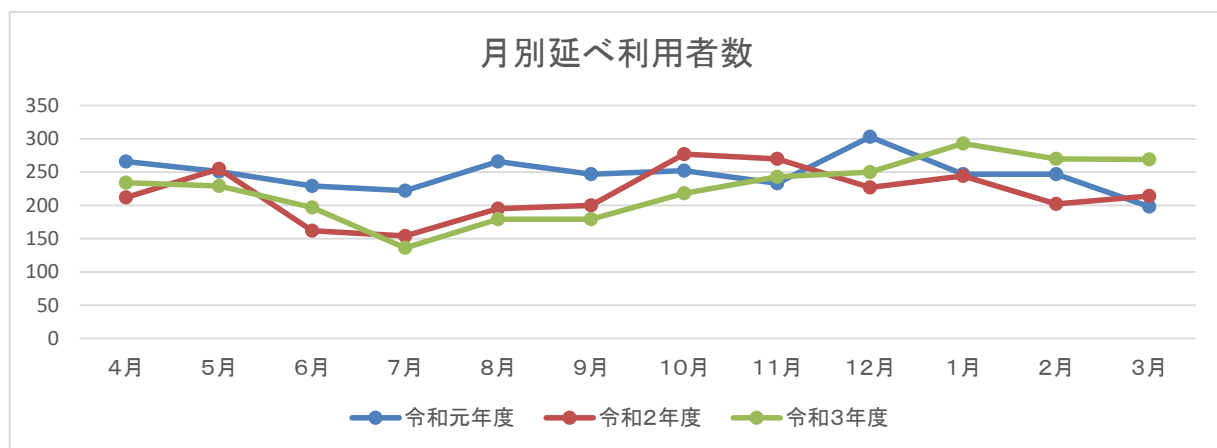
職 名	人 数	職 名	人 数
管理者	1 (特養兼務)	生活相談員	1 (特養兼務)
介護士	6.3	介護支援専門員	1 (特養兼務)
介護福祉士	(4.6)	調理員	特養兼務

※人数は常勤換算により計算 () は再掲

* ショートステイサービス利用状況

	入所実人数(上段)／延べ日数(下段)							合 計
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	
令和3年			2	8	1	6	1	18
4月			27	87	5	94	21	234
5月			2	7		5	1	15
			24	75		106	24	229
6月			3	7	2	5	1	18
			26	87	3	78	3	197

	入所実人数（上段）／延べ日数（下段）							合 計
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	
7月			2	7	2	4	1	16
			13	60	4	56	3	136
8月			2	6	3	5	1	17
			12	66	12	85	4	179
9月			1	7	3	4	2	17
			4	68	31	68	8	179
10月	1		1	8	4	3	2	19
	2		16	72	35	73	20	218
11月		1	2	11	8	4	2	28
		2	20	73	67	64	17	243
12月		2	1	10	5	5	1	24
		4	9	72	54	94	17	250
令和4年 1月		3		9	4	6	2	24
		7		67	39	159	21	293
2月		2		8	2	8	2	22
		7		63	23	149	28	270
3月		2		8	4	7	1	22
		6		62	57	114	30	269
合 計	1	10	16	96	38	62	17	240
	2	26	151	852	330	1140	196	2697



《地域密着型通所介護・介護予防通所介護》

【運営方針】

ご利用者・ご家族が安心して住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」が継続できるよう、自立支援と介護予防が図れる質の高いサービス提供に努めます。

- * ご利用者の日常生活上必要な介護および機能訓練等、その他必要な援助を行います。
- * 心身機能や生活動作等の把握を行い、個々のニーズに合った支援をします。
- * 身体機能（筋力）の維持・向上を目的としたプログラムの実施、また趣味や教養を反映したアクティビティを提供し、楽しみながら心身の活性化が図れるよう努めます。
- * 在宅介護や日常生活上のお困りごと等の相談に応じ、ご利用者の社会的孤立感の解消およびご家族の身体的・精神的負担の軽減を図ります。
- * 居宅介護支援事業所や市・地域の保健・福祉サービス機関等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」が継続できるよう、丁寧なアセスメントを行い、個々のニーズに合ったサービスを提供できるよう努めました。身体機能（筋力）の維持・向上が図れるアクティビティや認知症予防を目的としたレクリエーション等のプログラムを取り入れ、楽しみながら心身の活性化が図れるよう支援しました。他事業所との情報共有・連携を密に取り、ご利用者・ご家族が安心して在宅生活が送れるよう、またコロナ感染症予防を徹底し、安心・安全なサービス提供に努めました。

* 職員配置（令和4年3月31日現在）

職名	人 数	職名	人 数
管理者	1（特養兼務）	機能訓練指導員	1（特養兼務）
生活相談員	1	運転手	1
介護士	1		

* 定員及びサービス提供日時

- ①定 員 ： 地域密着型通所介護＋介護予防通所介護 10名／日
 ②営業日 ： 月・水・木・金曜日(12/31～1/3は除く)
 ③サービス提供時間 ： 9:30 ～ 15:30

* 提供サービス内容

- ①送迎 ②健康チェック ③入浴 ④食事 ⑤個々に必要な身体介護
 ⑥機能訓練 ⑦アクティビティ ⑧生活相談

* 利用者状況（令和4年3月31日現在）

①年齢と性別 (人)

性別 \ 年齢	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合 計
男 性	0	1	1	0	0	0	2
女 性	0	2	0	1	2	5	10
合 計	0	3	1	1	2	5	12

②介護度区分 (人)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
人 数	0	0	3	7	0	2	0	12

* 月別利用状況（延べ利用者数）

区分	要支援		要介護					利用者数	
月 \	1	2	1	2	3	4	5	合計	1日平均
4月	0	0	28	50	0	9	0	87	4.8
5月	0	0	39	47	0	7	0	93	5.5
6月	0	0	41	54	0	11	0	106	6.2
7月	0	0	37	67	0	11	0	115	6.4
8月	4	0	39	49	0	8	0	100	5.9
9月	5	0	29	59	6	9	0	108	6.0
10月	4	0	22	49	12	8	0	95	5.6
11月	4	0	22	49	10	5	0	90	5.3
12月	5	0	20	68	2	9	0	104	5.8
1月	4	0	22	72	0	6	0	104	6.5
2月	0	0	27	60	0	8	0	95	5.9
3月	0	0	34	64	0	14	0	112	6.2
合計	26	0	360	688	30	105	0	1209	5.8

《ふれあい交流通所サービス（基準緩和型）》

【運営方針】

介護を必要としない要配慮高齢者の生きがいつくりや閉じこもり予防、自立支援に向けてふれあい交流を中心としたサービスを提供します。

- * 身体機能（筋力）の維持・向上を目的としたプログラムの実施、また趣味や教養を反映したアクティビティを提供し、楽しみながら心身の活性化を図れるよう努めます。
- * 在宅介護や日常生活上のお困りごと等の相談に応じ、助言・援助を行い安心して在宅生活が送れるよう支援します。
- * 地域包括支援センター及びご家族等と連携を図り、在宅生活の継続のために必要な支援をします。

介護を必要としない要配慮高齢者の生きがいつくりや閉じこもり予防、自立支援に向けてふれあい交流を中心としたサービスを提供しました。

* 定員及びサービス提供日時

①定員：10名／日

②営業日：月・水・木・金曜日(12/31～1/3は除く)

③サービス提供時間：9:30～15:30

* 月別利用状況（延べ利用者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	4	5	17
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	4	5	17

《元気いきいき通所サービス（短期集中型）》

【運営方針】

地域での社会参加や自己実現、ご利用者自らが設定した目標の達成に向けた支援をします。

- * 個別支援プログラムによりADL、IADLを向上させ、6か月後の社会参加につなげることを目指します。
- * 定期的な体力測定を行い、ご利用者自身が成果を実感できるよう支援します。
- * 他者との交流により、楽しみをもって参加できるよう支援します。
- * サービス終了後も一定期間居住地等を訪問するなど、普段の生活や地域活動を継続する支援を地域包括支援センター等と連携して行います。

こけないからだ体操を実施することでADL、IADLを向上させ、地域での社会参加や個々の目標達成、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう支援を行いました。

* 定員及びサービス提供日時

①定員：10名／日

②営業日：火曜日(12/31～1/3は除く)

③サービス提供時間：9:30～12:00

* 月別利用状況（延べ利用者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
要支援1	0	0	0	0	5	2	2	5	4	4	6	13	41
要支援2	0	0	0	0	10	8	8	10	8	8	4	3	59
合 計	0	0	0	0	15	10	10	15	12	12	10	16	100

○ サービス調整会議 ～ご利用者の満足の為に～

1回開催／月

* 事業全般のサービス向上

- ・身体拘束適正化
- ・事故防止
- ・感染症及び食中毒まん延防止
- ・褥瘡ケア
- ・衛生管理
- ・苦情対応
- ・広報・行事企画
- ・地域交流事業
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・各委員会活動報告

感染症及び食中毒まん延防止、事故防止、利用者の尊厳（身体拘束適正化）については、特に、職員への研修（下表参照）と対策の検討を行い、法人内の周知徹底を図りました。また、職員会議での周知及びユニットごとに研修開催を実施しました。

	研 修 内 容		研 修 内 容
4月	新型コロナウイルス感染対策について 身体拘束適正化、事故防止について	10月	インフルエンザ予防、口腔機能向上 シートについて
5月	新型コロナウイルスワクチン接種について 認知症ケアについて	11月	不適切ケアについて、感染性胃腸炎に ついて、事故防止について
6月	新型コロナウイルスワクチン接種について 熱中症予防について、SDGsについて	12月	介護ICT導入について、感染症対策に ついて、
7月	熱中症・脱水・食中毒予防について リフトの使用法について	1月	新型コロナウイルスワクチン接種について 介護ICT導入について
8月	アルツハイマー型認知症について 緊急時対応、褥瘡予防について	2月	感染症のBCPについて、身体拘束適正 化について
9月	皮膚トラブルについて、グリーフケア について、リスマネについて	3月	事故防止、事故報告について、脱水予 防について、環境整備について

* 委員会・班活動

全職員参加による委員会及びチームを設置し、質の向上や課題への対応、新たな取り組みをすすめました。

- ・ リスクマネジメント委員会
- ・ アクティビティ委員会
- ・ ケア向上委員会（排泄褥瘡予防・認知症ケア・看取りケアの3チーム）
- ・ 花と緑いっぱい委員会
- ※ 別紙3（委員会活動報告）

○ 組織強化

* 組織強化ミーティングの開催

毎月1回開催

社会保険労務士をコンサルタントとして、組織体制の強化、各部門の役割分担と連携、事業展開、地域貢献活動の構築等について検討を行いました。

- ・ 事業の方向性、各部門の役割と連携、経営者の果たす役割について
- ・ 組織体制の強化 ・ 人材の確保、労働環境の整備
- ・ 就業規則の改定 ― 正職の定年70歳に延長、パート職員の定年廃止
特別処遇改善手当の創設

○ 「ワーク・ライフ・バランス」の推進 ～働き続けやすい事業所を目指して～

* 両立支援事業

- ・ おかやま子育て応援宣言企業 登録 平成28年8月1日（登録証第28008号）
- ・ 津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業 認定 平成29年4月1日
- ・ おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」認定 令和3年12月28日
- ・ 両立支援委員会 （委員20名）

職員が仕事と家庭の両立ができ、意欲的に働き続けられる職場環境について検討しました。

開催日	協 議 題	出席者
R3.7.15	夏休み期間中の子どもスタッフの受け入れについて 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の策定について	12名

- 子どもスタッフ

長期休暇等に子どもとともに出勤し、親の職場や仕事に触れる機会を作りました。勉強の時間と遊び、行事の手伝いなどの時間を分けメリハリのある生活を送りながら、施設内に明るい笑顔を広げてくれました。



- 夏休み課題応援ボランティア 8月12・14日

- こどもスタッフ出勤状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	5		2	6	7							1	21
延べ	13		2	16	19							1	51

- * メンタルヘルスケア（心の健康づくり）

- メンタルヘルスミニ講座 毎月1回

- ストレスチェックの実施

令和3年10月18日～11月30日 実施者 5名

結果について産業医と共有し、職員のストレスをサポートする体制を整えました。

- * ハラスメント対策の強化

- 職場におけるハラスメントを防止するため、事業所の責務、職員が遵守すべき事項を定め周知啓発を行いました。

マニュアルの作成、相談窓口の設置

- * 腰痛予防

- ノーリフティングケアの推進

入居者の尊厳や自立（自律）を支援し、入居者、介護者ともに安全・安心・安楽（快適）な環境を整えるため、介護者の力で持ち上げない介護を行うことを目標にリフト等の福祉機器や用具を有効に活用できるよう努めました。

- ノーリフティングケア推進委員会

開催日	協議題	出席者
R3.6.7	ユニットでのリフト使用状況について	14名
R3.7.9	ユニットでのリフト使用状況について	15名
R3.9.3	ユニットでのリフト使用状況について	13名

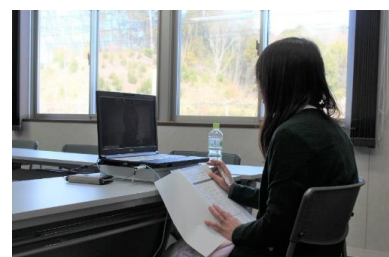


- 腰痛調査 79名（腰痛のある人 14名）

- * テレワークの実施

多様な働き方の実現と感染症対策をしながら働き続けられる環境整備を行い、在宅勤務を中心としたテレワークを実施しました。

- 津山市テレワーク導入についての伴奏型支援協働事業の活用
ヒアリング 年3回



○ 職員研修システム

法人内における研修

- * 各分野における研修

研 修 会 名	開催日	講 師	参加人数
R4年介護報酬改定の具体的な内容	R4.4月中	オンライン	受講14名
リフレケア研修～おむつの話～ (zoom)	R3.4.20	リフレサポーター	受講14名 伝達38名
社会福祉施設等における感染対策 及びクラスター発生時の対応	R3.4.28	オンライン	受講20名

研 修 会 名	開催日	講 師	参加人数
緊急時の対応 実践編	R3.7.21	看護師長	受講26名 伝達研修43名
感染予防と手洗い方法と介護上の留意点 (zoom)	R3.8.17	感染管理認定看護師	視聴7名 資料配布全職員
施設における事故防止 (Web)	R3.8.23	松本リハビリ研究所所長	参加者25名
スタンディングリフト研修	R3.9.7	(株)アイ・ソネック	参加者30名
褥瘡ケア・排泄ケアセミナー	R3.9.28	オンライン	参加者1名
定年延長説明会	R3.9.29	神田社労士	参加者35名
高齢者の口腔機能向上シート活用研修会	R3.10.21	美作保健所	受講21名 レポート20名
CAREKARTE製品紹介セミナー	R3.10.21	オンライン	参加者8名
介護保険施設等に対する新型コロナウイルス感染症の第6波に備えた研修会	R3.11.25	ウェビナー	視聴16名
身体拘束適正化・虐待防止研修	R3.11.26	施設長	参加者41名 レポート全職員
シーティング研修	R3.12.8	(株)アイ・ソネック	参加者23名
事故防止研修	R3.12.13・16・22	社会福祉士	参加者54名
リスクマネジメント研修 危険予知トレーニング	R4.1.19	作業療法士	参加者29名 レポート41名
高齢者福祉施設における基本的な感染予防研修 (Web)	R4.1.21	感染管理認定看護師	受講16名
看取りケア研修会	R4.2.16	看取りケアチーム	参加者27名 レポート30名
身体拘束適正化・虐待防止研修 スピードロックと心理的虐待研修	R4.3.24～ 28	動画視聴	レポート 70名



* 新任者研修

開催日	主な研修内容	時間(分)	講 師	参加人数
R3.4.1 ～4.28 延18日間	法人理念、岡山県の社会福祉	40	理事長	6名
	高齢者の暮らし、生活の支援・住環境整備 身じたくの介護、入浴介助、排泄の介助 生活の中の危険、衣類の着脱、睡眠の介護等 ノーリフティングケア、ユニットケア 24hシート、施設のルール・設備他	1,260	介護士長 ユニットリーダー他	
	心と体のしくみと健康、感染対策、 緊急時対応、認知症の理解、嚥下の理解 高齢者に生じやすい疾患、終末期の理解等	870	看護師長 看護師	

開催日	主な研修内容	時間(分)	講 師	参加人数
	就業規則、教育体制と評価、 コミュニケーション、 身体拘束適正化、虐待防止	450	施設長	
	事業計画、組織、社会の理解、自立と尊厳	240	事務局長	
	多職種連携、ケアプラン	150	介護課主幹	
	介護過程の展開	270	相談員	
	ICF、リハビリテーション、安全な暮らし	240	作業療法士	
	口腔ケア	120	歯科衛生士	
	介護技術	960	作業療法士	
	お花見イベント(入居者との関わり) ユニット滞在、振り返り等	660		
総時間数(18日間)		5,260		

＊ 外部研修

認知症介護基礎研修、感染症対策研修会、虐待防止等ケアのスキルアップに資する研修や介護報酬改定に関する研修等のオンライン等の受講をしました。

※ 別紙3(研修等一覧)

○ 第三者委員会の開催

本事業所に対する入居者、家族等からの苦情に適切に対応する体制を整えるため第三者委員会を設置しています。年度内の苦情の受付内容と、事故の内容・件数等の報告を行い助言をいただきました。

開催日：令和3年6月9日(水)

出席者：第三者委員、理事長、施設長、事務局長、在宅部長、事務局次長、看護師長、介護士長、介護士主幹、介護支援専門員、作業療法士、相談員

内 容：苦情の内容及び対応について、事故報告について

第三者委員：弁護士、サンシティうぐいす施設長、津山福祉会監事

安全管理

○ 感染症・食中毒の予防及びまん延防止

＊ 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染予防として職員への感染防止策の周知及び研修、職員、入居者へのワクチン接種、家族への感染対策と在宅サービス受け入れ時の注意事項、家族の面会、ボランティアや実習生の受け入れ等について協議し実践と協力依頼を行いました。

・ 新型コロナワクチン接種

1回目 令和3年5月～

2回目 令和3年6月～

3回目 令和4年1月～

・ 厚生労働省等が発出するガイドライン等の周知と感染予防

・ 職員への研修や訓練の実施(別掲)

・ 入居者、利用者への日々のバイタル測定の実施

・ オンライン、窓越し面会の実施

・ 備蓄品、検査キットの整備

・ 環境整備、換気の実施

＊ インフルエンザ対策

・ インフルエンザ予防接種

令和3年10月22日～10月27日

令和3年10月22日、27日



職員 75名

入居者 75名

○ 防災対策

* 自主組織による防災訓練の実施

実施日	避難訓練・講習等	講師・協力	利用者	職員
R3.5.12	消火訓練・避難訓練(夜間想定) ・消火用散水栓放水・消火器による消火訓練 ・夜間における安全で迅速な避難誘導の実践	(株)ガット2名	6	20
R3.11.1	消火訓練・避難訓練 ・消火用散水栓放水・消火器による消火訓練 ・夜間における安全で迅速な避難誘導の実践	(株)ガット2名	16	42

居室等の電気設備点検 月1回 備蓄品(飲料水・食品等)の確保と管理

* 福祉避難所の整備

津山市から「災害時に要援護者の福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」に基づき福祉避難所の指定を受け、緊急時に備えました。

○ 事故防止・リスクマネジメント

- 事故防止と身体拘束適正化の取り組みを行い、安心して生活できる環境づくりと自立の支援に努めました。事故発生防止と再発防止を適切に行うため、安全対策担当者を配置し、ユニットや専門職、多職種協働のカンファレンスを行い、多様な視点で事故の要因を探り事故の再発防止に努めました。また、ユニット内で起こった事故は、全ユニット、スタッフに伝達し、事故内容・対応策を共有する事で事故防止を働きかけました。
- 入居者の自立した生活の支援のために必要な事項、取り組みの状況をユニット間で共有し、課題の解決に向けて協議しました。入居者の状態変化に伴うカンファレンス、事故発生後の再発防止カンファレンスを随時開催しました。安全対策担当者を交えたカンファレンスでは、なぜなぜ分析を活用して、真の原因を究明して問題を解決を図り再発防止に力を入れました。
- 事故件数：48件

事故内容	件数	事故内容	件数
転倒	8	バルンカテーター抜去	1
転落	4	誤嚥	1
配薬・服薬などの誤り	7	食事	3
表皮剥離	1	紛失	1
裂傷	2	その他	17
一人で施設外に出る	2		
骨折	1	合計件数	48

* 事故後カンファレンス回数：63件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計事故数	1	1	3	6	2	4	5	6	10	3	2	5	48
特養		1	3	6		4	5	4	8	3	1	4	39
短期	1				2			2	2			1	8
デイ											1		1
カンファレンス	0	2	2	10	5	7	14	4	9	5	1	4	63
特養		2	2	10		7	14	4	9	4	1	3	56
短期					5					1		1	7
デイ													0

○ 身体拘束適正化と虐待防止

- 利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的被害を理解し、拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束をしないケアの実施に努めました。

- ・ 第三者が違和感を感じるケアについて声を出し合い、不適切なケアを振り返るきっかけを作りました。見て見ぬふりをせず、お互いを思いやるチーム作りをしました。
 - ・ 委員 施設長、事務局長、在宅部長、看護師長、介護士長、介護支援専門員、相談員、作業療法士、管理栄養士、通所管理者
 - ・ 委員会 毎月1回開催
 - ・ 研修会の開催（別掲）

○ 介護ICTの推進

新たなICT機器（生態モニタリング機能を持つ見守りセンサーとモバイル・音声入力対応の介護記録システム）の導入と全館にわたるWi-Fi環境の整備を行い、介護業務の効率化を図るとともに、多様な職員の働きやすさと入居者の個々の生活リズムに合わせたケアの実現を目指しました。

全国老人福祉施設協議会：「介護ICT実証モデル事業」

岡山県：「職員に優しい、やる気の出る介護現場づくりモデル事業」の採択を受けました。

- ・ 眠りSCANの設置 台数 90台
特養と短期入所の居室に、心拍や呼吸数、睡眠状態、起き上がり等がリアルタイムでモニターで確認できる眠りSCANを設置し、入居者の状態に合わせた訪室、事故防止、安眠の確保、看取り期の状態変化の把握、記録への活用等を行いました。



- ・ CAREKARTEシステムの導入
ヘッドセット 20個 iPhone 25台
インカムや音声入力機能が活用でき、眠りSCANとも連携する介護記録システムを導入し、業務の効率化をすすめるとともに、それによって生まれる時間を活用しアクティビティ等の生活の活性化を進めました。また情報共有が円滑になることから、統一されたケアの実現に努めました。



- ・ Wi-Fi環境の整備 アクセスポイント 18台設置
施設内ほぼ全域をカバーする通信環境を整え、モバイル機器の活用など業務効率向上に努めました。また、フリーWi-Fiも接続可能とし職員の福利厚生にもつなげました。
- ・ テレビ会議システムの導入
遠隔地の相手とリアルタイムに映像で会話できることから打合せや協議の効率化を図りました。

○ 高寿園SDGsの取り組み

キャッチフレーズ 「小さな変化を楽しむ」

目標

- 1 地球環境や社会の課題に求められる「責任ある行動」をもつ職員が育ち、持続可能な福祉経営を実現します。
- 2 サステイナブルな取り組みを企画実施していくことから、住み続けられる街づくりを実行できるような力を持ちます。
- 3 誰もが喜びを分かち合い生き生きと暮らす地域共生社会の実現へ多種多様な文化・価値を尊重し、理解し合い、差別をなくすなど、様々な立場の人の声に耳を傾け、ニーズを理解して、一人ひとりが実践できることを考えます。

1) SDGsプロジェクトチーム（メンバー12名）

- SDGsの考えを施設内に浸透させ、新たにアクションを起こしていくため、サステナブルな目標設定とゴールを目指す取り組みの企画実施を行っていました。

開催日	協議内容	出席者
R3.6.27	チームの取り組み、今後のスケジュールについて	8名
R3.8.6	プロジェクトチーム発信の取り組みについて 高寿園がすでに行っている取り組みについて 個人での取り組みについて	10名
R3.9.1	サステナブルな目標の選定について	7名
R4.1.28	令和3年度の取り組みの振り返りと次年度計画について	6名

- エコキャップ運動
ペットボトルのキャップ回収ボックスを設置し、集まったキャップをエコキャップ推進協会に送付しました。
5,655個
CO2の削減 41.42kg
- 片付けで子どもを救おう古着ボックス
古着などを集め、「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」に送付しました。
3回発送



- フードロスをなくそう
「食品ロス削減月間」を中心に、食品を無駄にしない・作りすぎない・買いすぎないことを周知し食品ロス削減の啓発を行いました。
- マイSDGs活動の募集
職員個々が行っているSDGsにつながる取り組みを募集し、ホームページへの掲載と、応募者にSDGsバッジを贈呈しました。

○ 広報活動

入居者・利用者のお過ごしの様子、スタッフの取り組み等、イベントの紹介や日常の様子を発信を随時行い、広く高寿園を知っていただけるよう広報活動に努めました。

- 採用者向けパンフレットの更新 ・ 高寿園だよりの発行 2回／年
- ホームページ・フェイスブック・Instagramの更新 随時
- 研修等講師、外部団体のイベント等への派遣、参加
- キントーンを活用し、クラウド上に入居者個々のアルバムを作成し複数の家族に閲覧いただける仕組み「自分ページ」を公開しました。

○ 創立40周年金事業

- * 記念植栽
施設敷地内に、ツバキやモクレンなど20種類の花木の植栽を行いました。
- * 記念誌の発行 700部

○ 介護・看護

* 特養介護

入居者一人ひとりに満足・安心していただけるように、心身の状況、性格、適応性、理解力等を正確に把握するよう努め、施設サービス計画書（ケアプラン）に基づく統一されたケアの実施に努めました。また日常の生活を記録して職員間で共有し、支援目標やケアの見直しを行うなど、より適切なケアを追求しました。

暮らしの継続を基本とするケアを目標に、入居者の気持ちを尊重した関わりを行い、コロナ禍にて直接お会いする場面が少ない中、電話連絡などでご家族との連携を心掛けました。個別ケアの充実を図るため24Hシートの更新を行ない、常に適切なケアを提供しました。

清掃についての意識を高め、心配りが心磨きである事の浸透に努めました。清潔な環境の中で居心地の良い暮らしと働きやすい環境を作りました。

リフトの更なる活用にて、ケアの質を高め、個々のQOLの向上を図りました。また、介護士の人員の確保が厳しい中、職員間の連携を図りチームワークを高めてケアを提供しました。コロナ災害時の対応に限らず、ユニットを超えて施設全体でケアが実施できるような体制作りも行いました。

* 入居者が望む生活の実現と個別ケアの実施

入居者をお迎えする段階から、アセスメントを十分に行い、その人らしさを追求したケアを検討しました。

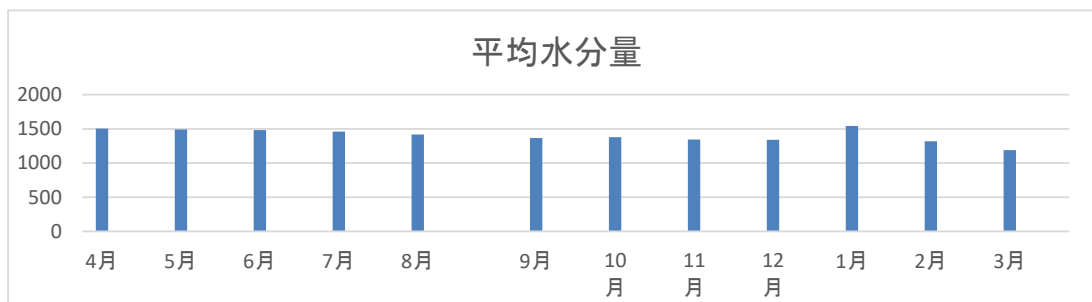
入居後は多職種が連携して、ケアプランに基づいたケアを展開しました。

毎月の「生活のご様子」をご家族へ発送しました。

* 入居者一人ひとりのかけがえのない生命の確保

水、食事、排便、運動を基本として、介護の専門職として根拠に基づいたケアを実施しました。

- ・ 一日1,500～2,000cc以上の目標を設定して、個々の嗜好や個別の時間帯や量を把握して、目標達成できるよう工夫をしました。
- ・ 自然な排便が行えるように、センナ茶を飲用して薬剤に頼らないケアを行いました。
- ・ 食事の常食化への移行と維持に取り組みしました。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均水分量	1503	1489	1480	1458	1417	1365	1379	1346	1342	1542	1316	1189

* 入居者が意欲を持ち生きる喜びを感じてもらえる支援

食事目的の離床にとどまらず、日中のアクティビティをユニット単位で工夫しました。生活の中で楽しみを見だし生きる喜びや意欲につながる支援を行いました。また、ユニットの外での入居者間や職員との交流の場を作りました。

- ・ ユニット外へのお出掛け
- ・ サンプルームでのカラオケ
- ・ 施設全体の行事に向けての作品展
- ・ ユニット体操
- ・ 個別アクティビティメニュー作成と実施



＊ 入居者の生活に潤いを与えて豊かにする支援

コロナ禍にて、ご家族とのご面会、外出や外泊がかなわない中、施設内、ユニット内での行事開催や日々の温かい関わりを大切にして不安の軽減や希望のある楽しい暮らしを支援しました。ユニットでの長寿をお祝いする誕生会は、家族でお祝いする誕生会のように温かさあふれ、入居者と家族に喜んでいただけました。

移動スーパーやパン屋の訪問販売は、買い物に出かけて選ぶ楽しみを感じ、訪問理美容師が訪れるヘアサロンでは、お気に入りのカットやカラーをしてもらい、おしゃれをしに出かける楽しみも感じていただきました。

- ・ とくし丸（移動スーパー） 毎週金曜日
- ・ ポエムパン（移動販売） 毎週水曜日
- ・ ヘアサロン（理美容師の訪問理美容） 月2～4回
- ・ ナンバホームセンター 毎月第4土曜日



＜ヘアサロンの利用状況＞

	カット	パーマ	カラー	顔そり		カット	パーマ	カラー	顔そり
4月	28	1	1	3	11月	25	0	0	0
5月	31	1	3	2	12月	30	1	2	0
6月	30	0	1	1	1月	32	0	0	1
7月	27	1	0	1	2月	33	1	1	0
8月	29	1	2	2	3月	30	0	0	1
9月	32	0	0	0	合計	361	6	11	11
10月	34	0	1	0					

昨年に続きコロナ禍で面会に制限があり、入居者、ご家族、スタッフそれぞれに苦しい1年でした。感染を回避しつつ面会の手段を最大限に工夫して検討していきましました。ライン面会、zoom面会、窓越し面会など、感染状況に応じて対策、対応していきましました。

＜面会者の状況＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	11	17	13	14	12	32	41	51	35	23	32	283

＜オンライン面会者の状況＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	33	27	20	22	15	6	3	3	2	13	3	147

＊ ユニットリーダー同士が課題を共有したり、取り組みの進捗について情報交換することで、全体的なケアの方向付け（ケアの理念に基づくケア）ができ、各ユニットに持ち帰って施設全体の浸透に努めました。

- ・ ユニットリーダー会議 毎月1回開催
- ・ ユニットミーティング 2ユニット毎 随時

＊ ユニットケアの充実に向けた取り組み

自立支援を基本とした個別ケアを実施しました。

- ・ 24Hシートの作成、更新、に基づくケアの実施
ケアの中で変化に気づき、タイムリーな更新を行ないケアの向上に努めました。

※ 別紙2（ユニット報告）

＊ ショートステイ

- ・ コロナ禍でのショートステイ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、家族にも体調チェック等をお願いしながらサービス提供を継続しました。また、家族等が感染確認地域に往来しなければならない等、一時避難的な一定期間のご利用に対応しました。

- ・ ユニットケアのショートステイ

ショートステイユニットでは、家庭での生活が継続できるように、お一人おひとりの状態の把握に努めて個別のケアを行いました。本人はもちろん、家族の思いにも応えられるように、ユニットスタッフが連携してきめ細やかなケアを提供しました。

すべてのご利用者が、心地よい空間で安心して過ごされるように、お部屋の清掃は徹底して行いました。また温かい声掛けと関わりを心がけました。

生きがいややりがいを感じ、来園時より心も体も元気になって帰っていただけるようなサポートに努めました。

- ・ ショートステイ利用中の介護

家庭での生活が継続できるように、利用前からの状態の把握と利用中の状態を観察して、適切なケアの実施に努めました。ご家族との連携を大切に、退所時に日々の暮らしの記録をお渡しする事と細かい伝達や相談、ケアの提案を行い、家族と共にご利用者を支えられるように努めました。家庭を離れて生活をされる中で、暮らしに楽しみを持ち、やりがいを感じていただけるように、アクティビティを充実させました。1年に一度の大切な記念日として誕生日会を行い、長寿を祝福しています。

安全の確保の為に、危険を予測してケアを工夫しました。事故が起きた場合は、原因を追究して適切なケアを検討し、事故の再発防止に努めました。ご利用中に、ご要望をうかがい、ご満足を追求めてサービスの質を高めています。コロナ禍にて長期間ご利用される方が多い傾向にあり、ご利用中にご家族に電話をして状況を報告したり連携を密にしました。

* 特養看護

入居者の多くが複数疾患を持ち、高齢化と共に身体状況が重度化しています。日常の健康観察をこまめに行い、医療機関の協力を得て疾患の早期発見ができるよう健康管理に努めました。各職種と連携して状態を把握し、残存機能を最大限に活用できるよう援助しました。施設内感染症対策、食中毒の予防等、日常生活における環境衛生の保持に努めました。褥瘡ゼロの実現に向けたケアに努め、改善しました。高齢者の栄養状態、体力低下などの影響に対するアプローチ等に課題が残りましたが、引き続き褥瘡ゼロに向けてケアを継続していきました。

* 健康管理

健康で苦痛のない日々を送れるように一般状態の確認を行い、医療機関への報告、受診を速やかに行いました。

- 健康診断 職員（パートを含む全員） 令和3年5月～7月 78名
夜勤職員 令和4年2月 24名

• 手浴・足浴

手浴・足浴（フットケア）をすることで、循環不全を予防し、四肢末端への血流改善につながるなど体調を整えるために実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	8	6	11	15	24	10	3	3	11	5	2	3	101

＊ 施設での医療

重度化、高齢化が進んでいます。入居者の状態観察を行い、異常があれば早めに医療機関の受診をしています。夜間の対応も含まれています。

内科的な疾患だけではなく、専門病院への受診もありました。

日々の心身状態の観察と状態把握の共有を図り、サインを見逃さないようにユニットに指導を行いました。

※ 施設内月別治療状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	420	350	382	467	473	573	466	490	532	498	507	545	5,703
内科	395	502	430	387	411	381	447	383	372	365	383	402	4,858
眼科	600	600	607	651	646	660	341	360	372	372	336	372	5,917
皮膚科	390	465	450	450	477	478	620	600	620	620	560	620	6,350
歯科	7	6	5	5	10	10	8	12	13	8	8	8	100
医師来診	10	7	8	6	9	11	10	10	10	10	10	7	108
医師特診	1	4	1	4	1	5	2	1	4	2	2	0	27
経管栄養	150	132	174	155	155	155	145	120	124	124	112	124	1,670
留置カテーテル	6	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	32
救急手当て	41	74	76	98	58	58	40	37	61	45	43	24	655
定期与薬	2160	2238	2166	2242	2282	2155	2216	2190	2290	2250	1986	2221	26,396
その他薬	235	218	207	215	245	231	245	235	230	246	208	212	2,727
血圧測定	160	146	139	154	161	189	161	186	157	165	106	162	1,886
検便	2	2		3	5	4	2	4		2	2	2	28
血液検査	11	4	6	7	7	19	8	8	6	5	5	5	91
レントゲン	4	12	10	11	15	13	12	11	12	6	9	15	130
リハビリ	15	12	9	9	12	12	12	11	12	12	12	15	143
終末処置	0	2	1	4	1	5	1	1	1	2	1	0	19
合計	4607	4777	4674	4871	4971	4961	4738	4661	4818	4734	4292	4736	56,840

* ショートステイ利用中の看護

ショートステイ利用中も在宅での療養等が途切れないよう、ご家族、主治医、ケアマネジャー等と連携してご利用者の健康の保持に努めました。
また、予防接種の推奨、水分補給の重要性等をご家族と共有し、在宅・ショートステイの切れ間ない支援に努めました。

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科				2	6								8
内科	17	47	40	9	16	27	30	41	52	58	77	85	499
眼科	45	44	43	38	42	42	42	57	44	48	42	48	535
皮膚科							37	33	32	36	38	41	217
定期与薬	244	231	194	138	186	182	221	246	248	294	277	275	2,736
その他薬		15			4	9	15	9		8	6	23	89
合計	306	337	277	187	254	260	345	386	376	444	440	472	4,084

※ 施設内治療内訳

科目	治療内容
外科	ガーゼ交換（一般傷、褥瘡）湿布
内科	臨時与薬、酸素吸入、内科的治療注射、吸引、吸入、貼付薬
眼科	点眼、軟膏塗布
皮膚科	軟膏塗布
留置カテーテル	膀胱洗浄、経管栄養、バルーンカテーテル交換
救急手当て	気道確保、応急処置
その他与薬	緩下剤、浣腸、臨時与薬

※ 施設外受診状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
眼科	6	2	5	3	2	2	3	2	2	1	3	1	32
皮膚科					1	1	2	1	1			3	9
歯科	1	1	1	2	6	2	5	6	3	2		1	30

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
泌尿器科	3		2	3	5	2	3	4	3	2	1	4	32
内科	2	10	10	8	10	9	10	7	12	4	7	13	102
外科	4	1	5	2		7	1		1	1			22
整形外科	1		2	6		6		1	2				18
合計	17	14	25	24	24	29	24	21	24	10	11	22	245
延入院数	71	124	166	69	45	30	91	34	39	82	50	97	898

※ 入院の状況

	入院理由	人数	入院延日数		入院理由	人数	入院延日数
4月	脳梗塞	1	2	9月	尿路感染症	1	7
	多臓器不全	1	30		イレウス	1	16
	肺炎・誤嚥性肺炎	2	35		右肺炎	1	7
	心不全	1	4	10月	肺炎	3	67
5月	多臓器不全	1	31		誤嚥性肺炎	1	24
	肺炎	1	31	11月	肺炎	2	27
	心不全	1	24		誤嚥性肺炎	1	7
	下部消化管出血	1	12	12月	イレウス	1	20
	麻痺性イレウス	1	11		左下腿血腫による腫脹	1	2
	てんかん発作	1	8		誤嚥性肺炎	2	12
	脳梗塞	1	4		肺炎	1	5
	誤嚥性肺炎	1	3	1月	イレウス	1	12
6月	多臓器不全	1	7		誤嚥性肺炎	2	41
	肺炎	1	1		肺炎	1	17
	麻痺性イレウス	1	30		上部消化管穿孔	1	12
	てんかん発作	1	23	2月	誤嚥性肺炎	1	8
	脳梗塞	1	22		肺炎	2	26
	誤嚥性肺炎	2	47		上部消化管穿孔	1	1
	褥瘡・尿路感染症	1	28		左大転子部骨折	1	15
	尿路感染症	1	8	3月	左大転子部骨折	1	29
7月	誤嚥性肺炎	1	26		肺炎	1	3
	褥瘡・尿路感染症	1	31		左大腿骨頸部骨折	1	20
	尿路感染症	1	12		右大腿骨骨折	1	22
8月	尿路感染症	1	31		腎盂腎炎	1	14
	左大腿粘液脂肪肉腫	1	6		尿路感染症	1	9
	イレウス	1	8	合計		59	898

* 看取りケア

多職種協働で入居者が最期に何を望んでいるかを考える場を設けました。最期の時まで経口摂取が実現できるようケアをしました。

- 入居者が自分の部屋でご家族・職員に見守られながら旅立ちができるように援助しました。
- 入居者が痛みの訴えなく自然に穏やかな旅立ちができるように、関わりを継続しながら細やかな対応を心がけることで旅立ちの前の不安を取り除く一助としました。
- 看取り期とされた入居者に対し、ユニット職員、専門職が連携して穏やかに旅立ちができるようケアの方法や方針を共有する看取りカンファレンスを行いました。ご家族も参加され、揺れ動く思いやご希望などを職員と共有することで悔いの少ない看取りを行うことができました。

《自宅での看取り》 1件 6月 自宅

家族が望む看取り期の入居者の自宅への外泊をかなえるため、嘱託医である大海医師の訪問診療や看護師長による看取り対応の説明、ケアマネ、相談員等多職種の連携と家族の協力のもと自宅での看取りを実現しました。

・ グリーフケア

旅立ちの後、ご遺族とともに故人を振り返る機会を持ちましたが、コロナの流行で少ない機会となりました。ユニットの職員、専門職がご遺族とともにそれぞれの故人の思い出を語り、近親者を失う喪失感や心の痛みに寄り添いその軽減に努めました。

ご遺族だけではなく、スタッフもケアを振り返ることができ、互いに気持ちが穏やかになりました。看取り期から退居の日まで、細やかなカンファレンスや情報共有を行うことで、最期の日までご家族と協力してケアをすることができ、故人が旅立った後の心の負担の軽減ができたように思います。

《看取りのカンファレンス》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者	1		2	1			1						5
回数	1		2	1			1						5
出席者	6		10	6			8						30

《グリーフケア～振り返りのカンファレンス》

	出席者	回数	参加者数(延)
9月	家族・施設長・看護師長・相談員・介護士	3	14
10月	家族・施設長・看護師長・介護支援専門員・相談員	1	5
11月	家族・施設長・看護師長・介護支援専門員・相談員	1	5
	合 計	5	24

* 口腔ケア「口から全身の健康を守ります」

- ・ 口から全身の健康管理につながるような口腔ケアの提供を行いました。
- ・ 口の中の清潔を保ち、感染予防を行いました。
- ・ 口からいつまでもおいしく食べるための機能の維持と向上をはかりました。

歯科衛生士による入居者アセスメント件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	76	77	47	68	76	56	77	74	76	93	101	163	984

○ ケアマネジメント

その人らしい穏やかな生活実現のために～多職種協働

- ・ ご本人・ご家族の意向をくみいれて、ご本人がご本人らしく、穏やかな日常生活を送れるように、施設サービス計画書を作成しました。
- ・ 体調維持、身体機能の維持・向上、日常生活のなかでの楽しみや生きがい等を考慮して作成しました。
- ・ 毎月開催するユニットケア会議では、各専門職参加のもと、サービス担当者会議を開催して、多職種間で協議しました。
- 入居時はご家族が出席されて会議を開催しました。
- ・ 定期的なモニタリングを行い、入居者の状況や支援の実施状況を把握しました。

令和3年度 サービス担当者会議開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期	12	7	10	11	5	9	7	9	6	5	10	11	102
入居	2	2	0	3	5	4	2	4	0	2	2	2	28
退院						1							1
看取り			2	1		1	1			2		0	7
ショートステイ	1	1	1	2	3	2	2	6	6	1	1	1	27
合計	15	10	13	17	13	17	12	19	12	10	13	14	165

- ・ 認定調査立ち合い件数…41件

○ 生活相談援助

入居者・ご家族の不安やご要望を真摯に受けとめ、サービスの向上に寄与するよう、法人内専門職種の連携に努めました。

入居者の権利擁護に努め、その代弁者としての役割を果たすよう努めました。

地域福祉の拠点としての施設を念頭に、地域の福祉の向上に努めました。

医療・保健・福祉、行政、地域組織等との連携の強化に努めました。

コロナ禍で待機者へのアプローチにおいても、できる限り面会もしくは写真・動画を情報として病院等から提供して頂くなど正確な情報収集に努め、適切な入居対応に努めました。

* 入居者・ご家族の生活相談援助

- ・新規入居者のご家族と密に連絡をとり、不安なく入居ができるよう努めました。
- ・相談室を整備し、相談しやすい環境に配慮しました。
- ・個別に居室に訪問してお話を伺うなどそれぞれの「暮らし」が継続できるよう努めました。
- ・コロナ禍で退院される入居者に面会ができない為、電話で情報を何度も伺い退院後に安心した生活を送れるよう努めました。
- ・退院時、ご家族の不安を最小限にするため、病院からの情報をもとにカンファレンスを開催して、施設での対応について共有しました。

* 入居待機者へのアプローチ

入居検討会議の開催	18回
待機者面接	45件
待機者問合せ等	36件
入居申込前の相談	105件
入居申込件数	53件
入居説明・調整	31件
入居前カンファレンス	27回

◀ 待機者状況 ▶ R4.3.31

要介護度別

要介護度	人 数
要 介 護 1	3
要 介 護 2	3
要 介 護 3	18
要 介 護 4	20
要 介 護 5	15
更新中・未確定	4
合 計	63

居所別

居 所	人 数	居 所	人 数
在 宅	21	小規模多機能	2
老人保健施設	5	グループホーム	4
有料老人ホーム	5	入院	26
合計		63	

* ショートステイの相談援助

- ・新規利用者数 22 件
- ・居宅サービス担当者会議出席 27 件
- ・初回面接等訪問、相談件数 11 件
- ・新規利用前ミニカンファレンス 18 件
- ・ユニット型ショートステイの利用拡大に向け、市民及び居宅介護支援事業所等へ利用の案内等を作成して訪問するなど、周知に努めました。
- ・緊急時のショートステイ利用の相談体制を整えました。
- ・居宅サービス担当者会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出席数	4	4	5		2	1	3	2	3	2		1	27

○ 生活の中の機能訓練

日常生活の中で、ご自身が持つ心身機能を生かし、安心した生活が送れるよう支援しました。ポジショニングの検討やシーティングの検討を行い、安楽に過ごせるよう工夫しました。定期的に身体機能や日常生活の評価を行い、お一人お一人に合った計画書を作成しました。計画書に基づいてリハビリ会議を行い、多職種間で協議し、協働してリハビリを行いました。

・ リハビリ会議の開催

入居者	リハビリ会議	298件		
入居時	リハビリ会議	28件		
状態変化（ターミナル）	による計画書作成	2件	合計	328件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	29	24	26	28	23	27	27	26	31	27	22	33	298
入居時	2	2		3	5	4	2	4		2	2	2	28
状態変化				2									2

・ グループ活動の実施

①リハカラ会

リハビリを目的にしたカラオケを行いました。（リハカラ会の実施。毎週水曜日）

- ・ 他者との交流（他ユニット間の交流）
- ・ 発声による嚥下機能の維持、向上
- ・ 離床する機会を持つ
- ・ 楽しむ場の提供
- ・ 発語の促し など

今年度は水曜日に行事を行うことが増えたため、実施回数が減少しています。

時間：14:00～15:00 実施回数：5回

参加者：延べ56名

	5月	7月	8月	11月	12月	計
参加人数	14	10	11	11	10	56
実施回数	1	1	1	1	1	5



②長寿の会

長寿の会は体力維持と入居者同士の交流を図る目的で、こけない体操の簡易版や口腔体操、茶話会をおこないました。毎週の会を楽しみにされ、活動性の向上につながりました。

2グループを週1回づつ（月曜・火曜）行いました。

梅雨明けにそれぞれのグループで鶴山公園までドライブする外出企画を実施しました。

普段の会とはまた違う雰囲気を楽しまれ良い気分転換となりました。

時間：13:30～15:00 実施回数：63回 参加者：延べ413名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	24	27	48	23	35	30	46	40	42	21	32	45	413
実施回数	4	4	7	4	5	5	7	6	6	3	5	7	63

○ 栄養管理

お一人お一人の栄養状態や食事摂取状況に応じた個々の栄養ケア計画に基づき、入居者の健康の保持増進に努め、低栄養の改善、予防、安全で衛生的な食事の提供ができるよう努めました。

* 給食状況（R4.3.31）

主食状況	人数
ご飯	27
粥	29
ムース	16
経管栄養	4

◎食事と経管併用の方1名

副食状況	人数
普通	28
粗キザミ	1
キザミ	6
ソフト	18
ゼリー	21

療養食	人数
糖尿食	5
心臓高血圧食	5
減塩食	1
肝臓病食	1

* 行事食等実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行事食	1	1	1	1	2	1	1	1	4	2	1	1	17
希望食			1	1			1					2	5

- ・4月のお花見では、花見弁当を作成しました。外で桜を眺めながらお食事を楽しめました。
- ・6月に紫陽花ゼリー、7月にすいかのフルーツポンチ、10月にスイートパンプキンを作成し、季節を感じられる手作り菓子を提供しました。
- ・12月の鍋パーティーでは、温かいお鍋を囲み、皆さん笑顔でいつもよりお食事が進んでいました。

* 1人1日当たり給与栄養量

	エネルギー	タンパク質	カルシウム		エネルギー	タンパク質	カルシウム
4月	1445	55.5	679	10月	1446	55.2	687
5月	1439	55	687	11月	1431	56.5	688
6月	1434	55.3	676	12月	1436	56.2	687
7月	1430	54.9	667	1月	1441	57	672
8月	1439	55.1	725	2月	1435	56.7	659
9月	1422	54.6	690	3月	1430	55.4	661
基準値	1434	41.8	518	基準値	1449	42.3	523

※ 基準値は入居者の状態に併せて半期ごとに算出します。

* 残菜調査

献立作成時のメニューの組み合わせや調理方法等に活用していくために2ユニット毎1週間の残菜調査を行いました。朝食・昼食・夕食時に毎回主食と副食の残量をそれぞれ計量しました。比較的、変わりご飯の日は残食率が低いことがわかりました。

実施日： 11月1日～28日

ユニット3・4から順次1週間ごとユニット9・10まで調査実施

* 栄養ケアマネジメント

栄養ケアマネジメントにより入居者の栄養状態をリスク別に振り分け栄養状態の改善・予防に努めています。低栄養状態のリスク判断材料として、体重（BMI）・血液検査（アルブミン）・喫食率・褥瘡・栄養補給法などの項目があります。

《栄養ケア会議》

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	4	4	4	4	4	20
プラン数	25	31	27	22	35	140

・ 個別栄養ケア

- 1) 食事を主食：粥、副食：ソフトで提供していましたが食事摂取量が上がり、食に対する意欲が低下していたため、医師に依頼して嚥下テストを受けられ、多職種でカンファレンスを行いました。副食を常食に変更して提供したところ、ほとんど完食されるようになり、ご本人もおいしいと大変喜ばれました。体重も順調に増加しています。

・ 食形態別低栄養状態リスク判別（R4.3.31）

	常食	粗キザミ	キザミ	ソフト	ゼリー	経管栄養	合計
低リスク	18	1	5	9	6	0	33
中リスク	10	0	1	8	14	4	36
高リスク	0	0	0	1	1	0	2

・ 高リスク判定内訳（R4.3.31）

	体重減少	血清アルブミン	褥瘡
	1	1	1

・栄養補助食品使用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高カロリージュース	6	6	6	5	5	6	6	6	5	5	5	4	65
高カロリーゼリー	4	3	3	4	4	4	4	4	3	4	4	4	45
高カロリージュレ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9

・栄養補助食品使用の目的（R4.3.31）

補助食品のタイプ	カロリー保持	体重低下
高カロリージュース	4	0
高カロリーゼリー	4	0

○ 地域福祉の推進と地域連携

＊ 運営推進会議の開催

津山市北部地域の福祉活動に関わる機関・団体の代表者への活動状況の報告や情報交換を通して、地域に開かれた事業運営及びサービスの質と地域福祉の向上を目的として運営推進会議を開催しました。

委 員：町内会長、民生委員、老人クラブ、愛育委員、消防団、公民館、地域代表
入居者家族、法人理事 11名 オブザーバー 津山市・津山市社協

開催日	内容	出席者
R3.7.26	令和2年度事業報告 高寿園地域福祉事業について 地域密着型通所介護事業について 地域課題について意見交換	委員 10名 職員 9名 法人役員 1名 市役所 1名
R4.3	地域密着型通所介護事業、日常生活支援総合事業について 地域事業の実施状況について	書面会議

＊ 送迎付き買い物サロン「ここ楽！@こうじゅえん」

新型コロナウイルス感染予防に努めながら、地域の高齢者の健康増進と交流の場としてサロンを開催することができました。

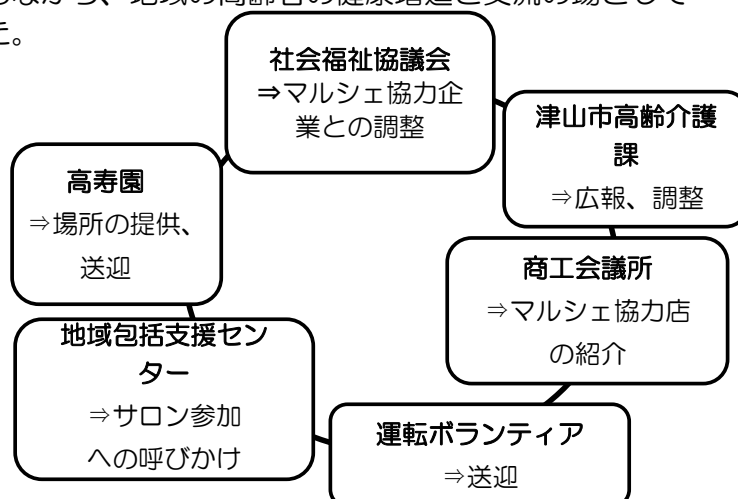
開催日時：毎月第4土曜日
10:30～15:00

場 所：高寿園
地域センター



参加者数

開催日	参加人数	備 考	開催日	参加人数	備 考
R3.4.24	7	ふまる 日替わりランチ	R3.11.27	13	なかもとや ぶり大根定食
R3.6.26	12		R3.12.25	14	高寿園 すきやき
R3.7.24	14		R4.1.22	10	
R3.9.25	15		R4.2.26	12	なかもとや 焼きサバ定食/豚カツ定食
R3.10.23	13		R4.3.26	9	
			合計	119	



《活動内容》

こけないからだ体操、マルシェでの買い物、昼食をとりながらの団欒、フリータイム（ペットボトルボーリング、風船バレー、ベンチサッカー、カーリングゲームなど）10月のアクティビティではおかやまコープさんに来園していただき「たべる・たいせつ出前授業」を開催してもらいました。
昼食はお店のお弁当や、実際にキッチンで調理されたでき立ての定食をいただくこともありました。

参加者の声

「1か月分笑ったわ〜。」「（でき立ての定食が）美味しかったよ、良い匂いだったし。」

「ここは安心（福祉施設だから感染防止などがしっかりしている）。」

※感染予防（手洗い、手指消毒、パーテーションでの区切り、検温）の徹底、送迎時も密にならないため少人数での送迎にし、伺う際に検温を実施しました。

* マルシェ

マルシェを開催することにより他年代の交流の場としての機能を果たし、“より身近な”地域の集いの場へとつながりました。サロン参加者だけではなく、地域の方のご来場も多くありました。

マルシェ協力店	
・パン工房エビ	・ばんこく珈琲
・ナンバホームセンター	・骨けん
・移動スーパーとくし丸	・Café Daccha
・早瀬豆腐店	・NK
・ポン菓子ポンちゃん	・ごはんどころ ガリ
・あっちゃんの大きな木	・家庭食堂ROOF
・笑てん会	

* 「生活支援サポーター事業」の実施

高齢者等の日常生活上の困りごとの手助けを行う生活支援サポーター事業に取り組みました。ちょっとした困りごとを生活支援サポーターが解決することで、住み慣れた地域での生活が継続でき、定期的に生活支援サポーターが訪問することで、見守りや困ったことがあった時に相談しやすい馴染みの関係が構築されています。また、地域の元気な高齢者等が生活支援サポーターの担い手となり、サポーター活動を通じて役割を持つことで生きがいづくりや介護予防に繋がっています。

（日常生活支援総合事業）

津山市の総合事業の協力事業所として、サポーターのコーディネート業務を行いました。

（独自事業）

津山市の日常生活支援総合事業だけでは対応できない、生活支援を希望されている方に対して、高寿園独自事業として生活支援サポーターのコーディネートを行いました。

（活動状況）

依頼内容	利用者(総合)	利用者(独自)	活動数(総合)	活動数(独自)	活動数(合計)
ゴミ出し	3	3	102	66	168
掃除		1		4	4
合計	3	4	102	70	172

内 容	件数
生活支援サポーターの依頼（実施できたケース）	2件
生活支援サポーターの依頼（実施に至らなかったケース）	1件
サポーター事業に関する概要の問い合わせ	1件
合 計	4件

内 容	件数	内 容	件数
利用料の集金と活動状況の確認	71件	その他（活動の打ち合わせなど）	4件
担当者会議	1件	合 計	76件

生活支援サポーター訪問サービス事業情報交換会への出席

津山市の生活支援サポーター事業協力事業所の情報交換会に出席しました。

＊ 子ども応援事業

・ おもちゃ図書館

コロナ禍のため定期開催を中止し、毎週日曜日に予約制にて1グループ貸切で開催しました。
合わせておもちゃの貸し出しも行いました。

日程 毎週日曜日 9:30～11:30 13:00～15:00

場所 地域センター

利用件数 15件 おもちゃの貸し出し 3件 7種類



・ HELLO BABYとの共催事業

日時	内 容	参加者数
11月18日	ベビーマッサージ	17
11月25日	抱っことおんぶ教室	14
12月11日	性教育ABC	19
12月13日	マタニティヨガ	4
1月21日	抱っことおんぶ教室（支援者向け）	5
1月21日	抱っことおんぶ教室	12
1月25日	産後ヨガ	14
1月27日	えいごであそぼ	17
2月16日	産後ヨガ	16
3月1日	抱っことおんぶ教室	11
3月4日	手形足形アート	13
3月15日	産後ヨガ	11
3月17日	ベビーマッサージ	16
3月19日	えいごであそぼ	23
3月22日	マタニティヨガ	5
3月27日	ファミリーコンサート	23
3月23日	ハーブクラス	16

※ 地域センターの活用

地域の団体にむけて地域センターの貸し出しを行いました。

また、地域の子育て団体との共催してイベント開催も行いました。

地域センターの利用

日時	団体名	参加者数	内 容
4月13日	HELLOBABY	13	抱っことおんぶ教室
4月18日	Breath	30	地域交流
4月20日	北部地区民協	25	定例会
7月3日	HELLOBABY	18	ファミリーコンサート
8月7日	あんあん	10	子育て支援としての親の話す場
8月13日	HELLOBABY	11	ハローマザー
8月20日	HELLOBABY	10	ベビーマッサージ

○ 令和3年度 役員会等の開催状況

・ 理事会の状況

開催年月日	理事	監事	決議事項
R3 .4.12	4名	1名	監事候補者について 定時評議員会の招集、職務執行状況の報告
R3 .5.5	6名	0名	評議員会の招集について
R3 .6.9	6名	2名	令和2年度事業報告書（案）について 令和2年度資金収支決算書（案）について 理事・監事候補者の選任について 評議員候補者の選任について 職務執行状況の報告
R3 .6.24	6名	1名	理事長、職務執行理事の選任について
R3 .9.24	6名	1名	就業規則の一部改定（案）について ICT機器等の導入について 職務執行状況の報告
R3 .12.15	5名	1名	令和3年度第1次補正予算（案）について 役員報酬及び慶弔に関する規程の一部改定（案）について 就業規則の一部改定（案）について 評議員会の招集、職務執行状況の報告
R4 .1.25	6名	1名	評議員候補者の選任について 職務執行状況の報告
R4 .3.7	4名	1名	令和3年度第2次補正予算（案）について 令和4年度事業計画（案）について 令和4年度資金収支予算（案）について 就業規則の一部改定（案）についてx 評議員会の招集について 職務執行状況の報告
R4.3.23	6名	1名	就業規則の一部改定（案）について 職務執行状況の報告

・ 評議員会の状況

開催年月日	評議員	監事	決議事項
R3 .5.17	7名	1名	監事の選任について
R3 .6.24	6名	1名	令和2年度事業報告書（案）について 令和2年度歳入・歳出決算書（案）について 監査報告 理事・監事の選任について 職務執行状況の報告
R4 .1.6	6名	1名	令和3年度第1次補正予算（案）について 役員報酬及び慶弔に関する規程の一部改定（案）について 職務執行状況の報告
R4 .3.23	7名	1名	令和3年度第2次資金収支補正予算(案) について 令和4年度事業計画（案）について 令和4年度資金収支予算（案）について 職務執行状況の報告

・ 監事会の状況

開催日 ： 令和3年5月18日 出席監事 ： 1名
令和2年度業務執行の状況及び財産の状況の監査

・ 税理士監査の状況

開催日 ： 令和3年5月17日 税理士 ： 1名
令和2年度事業運営の状況、規程等の順守、経理執行・財産の状況の監査

○ ボランティア、行事の開催等

ボランティアの訪問

内容	開催日		参加者					ボランティア	
			入居者	ショート	デイ	職員	その他	人数	氏名・団体名
昔話・歌・体操等	R3.4.8	木	24	9	2	7		6	津山語りの会 いろりばた
	R3.5.13	木	47	10	1	7		4	
	R3.6.10	木	20	6	3	10		5	
	R3.8.19	木	32	5	5	5		5	
	R3.10.14	木	52	5	4	8		4	
	R3.11.11	木	37	7	4	11		3	
	R3.12.9	木	32	7	5	7		3	
	R4.1.13	木	37	8	4	10		4	
	R4.2.10	木	34	10	5	10		4	
	R4.3.10	木	25	4	6	8	1	5	
お花のプレゼント	R4.1.3	金	0	0	0	5		6	高倉小学校
ひまわりのプレゼント	R3.7.30	金	0	0	0	2		1	杉の森 子ども会
参加者・ボランティア合計			340	71	39	90	1	50	

行事以外のボランティア

内 容	月 日	人数	団体名
草取り	R3.4.16 金	22	北部地区民協
夏休み課題応援	R3.8.12 木	2	小学校教諭
	R3.8.14 土	2	
縫物	R4.3.30 水	1	個人

行事

行事名	開催日		参加者					ボランティア			費用
			入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容	
お花見会	R3.4.6	火	65	7		38		6			52,928
書道クラブ	R3.4.18	日	8			3					
ガーデンランチ	R3.4.28	水	3			4					
端午の節句	R3.5.5	水	65	9	7	17					2,160
ガーデンランチ	R3.5.9	日	5			4					
100歳お祝い会	R3.5.29	土	11			4					11,236
書道クラブ	R3.5.30	日	10			4					
ボウリング大会	R3.6.23	水	25	4	6	12					11,066
書道クラブ	R3.6.27	日	13			4					
七夕祭り	R3.7.3~6	土 火	64	5	4	19					5,724
書道クラブ	R3.7.18	日	12			4					
カラオケ喫茶	R3.7.22	木	13	5		5					321
アイスづくり	R3.8.7	土	16			10					1,666
フラワーアレンジメント	R3.8.10	火	6			4		2	津山商業高校	行事補助	3,190
カラオケ喫茶	R3.8.10	火	15			5					
彼岸供養	R3.9.23	木	21	9	4	10		1	個人	読経	13,281
夏祭り	R3.8.18	水	71	5	6	35					41,094
ピアノコンサート (web)	R3.8.22	日	6	2		2					
カラオケ喫茶	R3.9.12	日	15			5					
生花教室	R3.9.14	火	14	2		5					11,000
敬老お祝い会	R3.9.15	水	65	8	6	21					53,240
書道クラブ	R3.9.19	日	13			4					

行事名	開催日		参加者					ボランティア			費用
			入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容	
彼岸供養	R3.9.23	木	21	9	4	11		1	個人	読経	10,000
握りずしフェア	R3.10.6	水	61	3	3	20					56,468
秋祭り	R3.10.20	水	61	6	7	22					18,611
書道クラブ	R3.10.24	日	13	6		4					
ガーデンランチ	R3.10.25	月	13			4					
屋台村	R3.11.3	火	74	7	5	48		3	子どもスタッフ	行事補助	107,080
手芸クラブ	R3.11.9	火	8			6		3	美作高校	行事補助	
書道クラブ	R3.11.21	日	18			4					
書道クラブ	R3.12.12	日	26			5					
鍋パーティー	R3.12.15	水	69	12	8	22					43,475
	R3.12.16	木									
手芸クラブ	R3.12.19	日	13			7					
クリスマス会	R3.12.22	水	61	11	7						1,180
ぐりーんカフェ	R3.12.22	水			6	3					
餅つき会	R3.12.28	火	16	1		20					3,579
生花教室	R3.12.29	水	10	2		6					33,300
お雑煮の会	R4.1.1	土	17	2		14					594
新年福引大会	R4.1.1	土	19			15					
初詣	R4.1.2	日	2			2					1,075
	R4.1.3	月	4			5					
新春書初めの会	R4.1.2	日	17			8					
初釜	R4.1.4	火	28			8					996
新春カラオケ大会	R4.1.12	水	57	6	6	26					278
とんど	R4.1.15	土	77	10		17					1,347
節分祭	R4.2.2	水	56	5	7	26					2,488
手芸クラブ	R4.2.13	日	15			5					
ひなカフェ	R4.3.9	水	36			18					5,374
	R4.3.23	水	29			11					
書道クラブ	R4.3.13	日	18								2,222
ぐりーんカフェ	R3.4.15	木		8	2	3					
	R3.4.20	木		6	7	3					
	R3.5.7	金		7	7	3					
	R3.5.20	木		8	7	3					
	R3.6.14	月		8	7	3					
	R3.6.28	月		7	8	3					
	R3.7.22	木		5	7	3					
	R3.8.4	水		8	7	3					
	R3.8.26	木			7	3					
	R3.9.9	木			4	3					
	R3.9.24	金		10	6	3					
	R3.10.11	月		8	6	3					
	R3.10.25	月		8	5	3					
	R3.11.10	水		9	5	3					
	R3.11.29	水		3	6	3					
	R3.12.10	金		7	7	3					

ぐりーんカフェ	R4.1.17	月		11	6	3					
	R4.1.27	木		13	6	3					
	R4.2.14	月		10	6	3					
	R4.2.24	木		13	4	3					
	R4.3.17	木		7	6	3					
	R4.3.30	水		7	7	3					
参加者・ボランティア合計			900	99	60	365	0	16	費用合計		494,973

花見



敬老お祝い会
紅白歌合戦

夏祭り



節分



* 行事食

行事名	月日	行事献立
お花見会	R3.4.6	＜お花見弁当＞
		ちらし寿司、白身魚のオニオンソース・松風焼き・菜の花の練り胡麻和え・茶碗蒸し・桜ようかん
端午の節句	R.3.5.5	オムライス(ケチャップソース)・エビフライ コンソメスープ・メロンゼリー
あじさい寿司	R.3.6.14	あじさい寿司・絹揚げと鶏肉の煮物 ほうれん草としめじの練りごま和え
七夕	R.3.7.7	七夕そうめん・大根と豚肉の煮物・マンゴー缶
土用の丑の日	R.3.7.28	うな丼・白菜と豚肉の煮びたし・きゅうりの浅漬け
夏祭り	R.3.8.18	かき氷・綿菓子・ジュース
敬老お祝い会	R.3.9.15	＜デザート＞フリーカットケーキ
握り寿司フェア	R.3.10.6	高寿園盛り 常食…サーモン・生えび・たまご・鰻・ハマチ ソフト…サーモン・生えび・ネギトロ・たまご・ハマチ ゼリー…やわらか押し寿司
屋台村	R.3.11.3	焼きそば・自然薯汁・パン・おでん・惣菜
忘年会	R.3.12.15	寄せ鍋…鶏しんじょう・鶏ごぼう稲荷・鮭・豆腐・白菜・大根人参・春菊・えのき
	12.16	ゼリー…溶けないシリーズ(鮭・チキン・白菜)
クリスマス	R.3.12.25	オムライス(野菜ソース)・エビフライ ブロッコリーの洋風おひたし・コンソメスープ
餅つき	R.3.12.28	あんこ餅・きな粉餅
大晦日	R.3.12.31	晦日そば・大根と豚肉の炒め物・みかん缶

行事名	月日	行事献立
新年会	R.4.1.1	<おせち>
お雑煮の会		有頭海老の旨煮・合鴨スモーク・ほたて旨煮・数の子・高野豆腐の煮物・伊達巻・絵馬蒲鉾・花三色・お煮め・黒豆・栗きんとん
とんど	R.4.1.15	ぜんざい・ようかん
節分	R.4.2.3	巻き寿司・稲荷寿司・肉金平・うまい菜と椎茸のピーナッツ和え イワシのつみれ汁
ひな祭り	R.4.3.3	ひし形寿司・厚揚げとふきの煮物・茶碗蒸し・黄桃缶・白桃缶
ひなカフェ	R.4.3.9	三食ゼリー
	R.4.3.23	桜ようかん

<別紙1> 令和3年度 研修等一覧表

【講師派遣】

講習会名	日程	主催	場所	講師等	人数
介護福祉士実習指導講習会：講師	R3.8.26	県介護福祉士会	岡山県立大学	介護士長	1
実習指導者講習会：講師	R3.10.2	県社会福祉士会	きらめきプラザ	施設長	1
出前講座：転倒予防	R3.10.19	だるま会	高野公会堂	作業療法士	1
出前講座：施設概要	R3.10.28	西吉田ふれあいサロン	西吉田公会堂	社会福祉士	1

【調査等協力】

内 容	日程	主催	場所	協力者	人数
業務プロセス評価に係るヒアリング	R3.7.30	県社会福祉士会	高寿園	作業療法士・調理員	2

【寄稿等】

内 容	日程	主催	協力者	人数
介護人材寄稿	R4.1	日総研出版	施設	1
社会福祉士実習指導者養成講座・プログラム	R4.3	日本社会福祉士会	施設長・相談員	2
県立高等技術専門校入稿案内寄稿	R4.3	岡山県立高等技術専門校	施設長・介護士	2

【視察・見学】

視 察 先	日程	内容	場所	参加者	人数
あじさいのおか牛窓	R3.7.19	眠りスキャン・記録システム	あじさいのおか牛窓	施設長・ケアマネ・相談員	3
いやさか苑	R3.8.3	入浴用リフト	いやさか苑	施設長・相談員	2

【表彰等】

内 容	日程	主催	場所	受賞者	人数
津山市社協会長表彰	R3.11.8	津山市社協	津山文化センター	調理員	1
津山市長感謝	R3.11.8	津山市社協	津山文化センター	看護師・ケアマネ	2
全国老施協 感謝	R3.11	全国老施協		ケアマネ・調理員	2
中国地区老施協 表彰	R3.8	中国地区老施協		ケアマネ・調理員	2
岡山県社協会長表彰	R3.11.8	県社協	津山文化センター	看護師長	1

【イベント等応援】

内 容	日程	主催	場所	参加者	人数
おかやま総合福祉・介護フェア2021取材	R3.6.22	県老施協	高寿園	事務員	1
おかやま総合福祉・介護フェア2021取材	R3.7.3	県老施協	高寿園	事務員	1

※ 外部研修

研 修 会 名	日 程	主 催	場 所	参加者名	人数
子どもの貧困対策研修会	R3.5.19	岡山県	オンライン	施設長	1
経営者セミナー	R3.5.31	県経営協	オンライン	相談員	2
安全運転管理者講習	R3.6.14	県公安委員会	オンライン	部長	1
安全対策担当者養成研修	R3.6.27	全国老施協	オンライン	相談員	1
リスクマネジメント研修	R3.6.29	全国経営協	オンライン	施設長・事務員	2
社会福祉士会全国大会	R3.7.3	日本社会福祉士会	オンライン	相談員	1
社会福祉士実習プログラム作成のためのレクチャー①	R3.7.9	日本社会福祉士会	オンライン	施設長・相談員	2
SDGs研修	R3.7.16	リコージャパン	オンライン	事務局長	1
中国地区老施協施設長研修会	R3.7.21	中国地区老施協	オンライン	施設長	1
社会福祉士実習プログラム作成のためのレクチャー②	R3.7.26	日本社会福祉士会	オンライン	施設長・相談員	2
福祉施設における災害支援研修会①	R3.7.29	県社協	オンライン	社会福祉士・事務員	2
子どもの貧困対策研修会	R3.7.30	岡山県	オンライン	相談員	1
社会福祉士実習プログラム作成のためのレクチャー③	R3.8.11	日本社会福祉士会	オンライン	施設長・相談員	2
技能実習責任者講習	R3.8.16	株式会社ウェルネット	第一セントラルビル	施設長	1
地域福祉実践研修①	R3.8.17	県社協	オンライン	相談員	1
災害派遣福祉チーム(DWAT)員養成研修(基本研修)	R3.8.27	県社協	オンライン	相談員	1
中国地区老人福祉施設研修大会	R3.9.1	中国地区老施協	オンライン	施設長	1
全国社会福祉法人経営者大会	R3.9.2	全国経営協	オンライン	事務員	1
日本高齢者虐待防止学会市民公開講座	R3.9.25	一社)日本高齢者虐待防止学会	オンライン	施設長	1
日本高齢者虐待防止学会	R3.9.26	一社)日本高齢者虐待防止学会	オンライン	施設長	1
福祉避難所の設置・運営に関する実務研修①	R3.10.20	岡山県	きらめきプラザ	事務員	1
技能実習指導員講習	R3.11.6	県介護福祉士会	きらめきプラザ	相談員	1
津山市社会福祉大会	R3.11.8	津山市社協	津山文化センター	看護師長	1
働き方改革関連法に関する説明会	R3.11.16	岡山県労働局	オンライン	相談員	1
クレーム対応研修	R3.11.24	県社協	オンライン	ケアマネ	12
全国老施協福祉施設大会	R3.11.25	全国老施協	オンライン	施設長	1
福祉避難所の設置・運営に関する実務研修②	R3.11.26	岡山県	きらめきプラザ	事務員	1
福祉施設における災害支援研修会②	R3.12.1	県社協	オンライン	社会福祉士・事務員	2
人事・労務管理研修	R3.12.3	県社協	オンライン	相談員	1
トップセミナー	R3.12.9	全国老施協	オンライン	施設長	1
高齢者虐待防止研修会	R3.12.10	市社協	オンライン	部長	1
経営協セミナー	R3.12.13	県経営協	オンライン	事務員	1
地域包括ケアシステム学会研修会	R3.12.18	岡山県地域包括ケアシステム学会	オンライン	施設長	1
ワクチンの追加接種に関する説明会	R3.12.24	岡山県	オンライン	看護師長・事務員	3
DWAT員養成研修	R4.1.12	県社協	オンライン	社会福祉士・相談員	2
クリエイティブセミナー	R4.1.19	県経営協	オンライン	相談員	1
津山東高校食物調理科卒業制作展示発表会	R4.1.25	津山東高校	津山東高校	部長	1
改正育児・介護休業法等説明会	R4.1.27	岡山労働局	オンライン	施設長	1
中国・近畿ブロックカンントリーミーティング	R4.1.28	県老施協	オンライン	事務員	1
CAREKARTEWebセミナー2022	R4.2.3	ケアコネクトジャパン	オンライン	施設長	1
福祉施設における災害支援研修会③	R4.2.8	県社協	オンライン	社会福祉士・事務員	2
経営協セミナー・役員セミナー	R4.2.15	県経営協	オンライン	部長	1

※ 会議等

会 議 等 名	日 程	主 催	場 所	参加者名	人数
県老施協 第1回21世紀委員会イベント班	R3.4.15	県老施協	オンライン	事務員	1
津山市社協と福祉施設の連絡会議	R3.4.28	津山市社協	市総合福祉会館	相談員	1
津山市新型コロナワクチン接種説明会	R3.4.28	津山市	市総合福祉会館	看護師長	1
県老施協 第2回21世紀委員会イベント班	R3.5.7	県老施協	オンライン	事務員	1
2021夏のボランティア体験説明会	R3.5.13	市社協	市総合福祉会館	相談員	1
県老施協 第3回21世紀委員会イベント班	R3.5.24	県老施協	オンライン	事務員	1
県老施協 第1回理事会	R3.5.28	県老施協	オンライン	施設長	1
県経営協 総会	R3.5.31	県経営協	オンライン	施設長	1
県経営協青年会 総会	R3.5.31	県経営協青年会	オンライン	相談員	2
2021夏のボランティア事前説明会	R3.7.12	市社協	市総合福祉会館	相談員	1
福祉紹介キャンペーン連絡会議	R3.7.27	県経営協	オンライン	相談員	1
北部圏域認知症キャラバンメイトチーム会議	R3.8.19	市社協	一宮公民館	社会福祉士	1
65歳超雇用推進助成金説明会	R3.9.16	高齢・障害・求職者雇用支援機構	雇用労働センター	事務員	1
県老施協 第1回21世紀委員会幹事会	R3.9.22	県老施協	オンライン	事務員	1
県老施協 第1回研修委員会	R3.9.29	県老施協	オンライン	施設長	1
県経営協 災害支援・地域共生部会	R3.10.7	県経営協	オンライン	相談員	1
県経営協 人材確保・事業経営部会	R3.10.11	県経営協	オンライン	相談員	1
2021夏のボランティア振り返り	R3.10.25	市社協	市総合福祉会館	相談員	1
美作保健所管内歯科保健推進会議	R3.12.9	美作保健所	津山保健センター	相談員	1
県老施協 第2回研修委員会	R3.12.14	県老施協	オンライン	施設長	1
県老施協 第2回理事会	R3.12.17	県老施協	オンライン	施設長	1
第2回PR動画作成企画会議	R3.12.23	県経営協	オンライン	相談員	1
県老施協 第1回21世紀委員会イベント班	R4.2.4	県老施協	オンライン	事務員	1
県老施協 第2回21世紀委員会幹事会	R4.2.9	県老施協	オンライン	事務員	1
県老施協 第3回理事会	R4.2.17	県老施協	オンライン	施設長	1
県老施協 第2回総会	R4.3.15	県老施協	きらめきプラザ	施設長	1
市介護保険事業者連絡協議会施設部会	R3.5.11	市介護保険事業者連絡協議会	津山市役所	施設長	1

※ 求人

催 事 等 名	日 程	主 催	場 所	参加者名	人数
津山圏域合同企業説明会	R3.4.29	津山広域事務組合	津山圏域雇用労働センター	部長・事務員	2
県北若者・学生就職応援フェア	R3.6.25	津山市公共職業安定所	津山総合体育館	部長・事務員	2
津山市内高校訪問	R3.7.6		高校4校	部長・局長	2
岡山市内養成校訪問	R3.7.7		朝日医療専門・旭川荘厚生他	局長・相談員	2
県北高校生のための就職応援フェア	R3.7.15	津山広域事務組合	津山圏域雇用労働センター	部長・事務員	2
津山市地域雇用創造協議会合同就職面接会	R3.8.7	津山市地域雇用創造協議会	津山圏域雇用労働センター	部長・事務員	2
秋の企業研究・説明会	R3.11.19	津山市地域雇用創造協議会	津山圏域雇用労働センター	部長・事務員	2
福祉の就職総合フェア岡山秋	R3.11.20	県社協	きらめきプラザ	部長・社会福祉士	2
人材確保求人面談・説明会	R4.1.20	津山公共職業安定所	ハローワーク	局長・事務員	2
福祉の就職総合フェア岡山冬	R4.2.11	県社協	コンベンションセンター	相談員・社会福祉士	2
県北地域企業説明会	R4.3.4	津山広域事務組合	津山総合福祉会館	部長・事務員	2
つやま合同企業説明会	R4.3.13	岡山県	津山圏域雇用労働センター	局長・社会福祉士	2

〈別紙2〉 令和3年度 ユニット報告

《ユニット3》

『入居者が安心して暮らせるユニット作り』を重点目標として1年間取り組みました。

- ・常に笑顔で優しい言葉掛けを忘れず、入居者が安心して過ごせるように努めました。
- ・入居者の思いに寄り添い信頼関係を築けるよう、コミュニケーションを大切にしました。
- ・ユニット内でのアクティビティの実施が行えませんでしたでしたが施設の行事参加を勧め、楽しみを持っていただけるよう支援しました。
- ・ユニットミーティングは行えませんでしたでしたが、申し送りノートや書面での情報の共有に努め、ケアの統一を図りました。
- ・24Hシートの活用が十分に行えなかったため、引き続き、次年度の目標としユニットケアの1つのツールとして活用していけるよう努めます。
- ・ユニット費 日用雑貨 3,000円/月

《ユニット4》

『入居者が安心・安全に過ごせるユニット作り』を重点目標として1年間ユニットスタッフ取り組みました。

- ・笑顔で優しい言葉掛けを忘れず、入居者が安心してもらえるように努めました。
- ・24Hシートの活用はあまりできていませんでしたが、状態等に変化があれば見直しを行い統一したケアが行えるように情報の共有に努めました。
- ・ケガや事故が起きないよう、安全に過ごしていただけるように努めました。
- ・行事やアクティビティへの参加を勧め、活気のある生活を送ってもらえるように努めました。
- ・ユニット費 日用雑貨 3,000円/月

《ユニット5》

『その人らしい暮らしの継続と、心豊かになるような関わりを持ちます』を目標として1年間取り組みました。

- ・日々の関わりの中からの何気ない言葉や様子、表情を見落とす事無く小さな変化への「気づき」に心掛けながらケアを行いました。また、直ぐに対応していく事に努めました。
- ・毎日の検温や観察を行い、体調の変化を見逃さず、安心した日々を送って頂けるよう支援しました。
- ・スタッフ間の情報交換や2ユニット共通の申し送り簿を活用する事で、入居者一人ひとりに統一したケアを行うよう心掛けました。
- ・残存機能の維持を目的に、洗濯物たたみやおしぼりたたみ等、ご自分の役割として頂けるように努めました。
- ・来年度も入居者一人ひとりの思いに寄り添い、笑顔あふれる毎日が送れるよう思いやりのあるケアを目指していきたいと思います。また、スタッフ間でしっかりと連携を取りながら安全な日々が送れるよう努めていきたいと思います。
- ・ユニット費 日用雑貨 1,000～2,000円/月

《ユニット6》

『一人ひとりに合った個別ケアを行い、その人らしい生活の実現をめざす。』を重点目標として1年間ユニットスタッフで取り組みました。

- ・入居者の状態に変化があった時は、その都度他部署とも話し合い、安心して過ごしてもらえるよう努めました。
- ・個別にタオルたたみや数字ゲーム、音楽鑑賞(昭和歌謡曲)等、楽しみをもってもらえるよう努めました。

- ・スタンディングリフトを使用し、おむつだった方もトイレでの排泄、排便ができるようになり、個々にあった取り組みが出来ました。
- ・今後も生活していく中で不都合があれば環境を整え、一人ひとりに寄り添えるケアに努めたいと思います。
- ・ユニット費 日用雑貨 1, 000～2, 000円／月

《ユニット7》

『一人ひとりの入居者に合った生活が送れるように楽しみのあるユニット作り』を重点目標として1年間ユニットスタッフで取り組みました。

- ・入居者が落ち着いて安心が出来る環境を作れるようにスタッフが入居者に寄り添い、入居者の小さな変化にも気づけるよう努めました。
- ・スタッフ同士で気づきや情報共有が行えるように情報共有する為のツールを用意し、統一したケアを行うよう努めました。
- ・入居者に対するケアを行う際には優しい言葉かけのあるケアを行いうよう努めました。
- ・24Hシートの活用はできていませんが、変化があった際には見直しを行い、活用していけるよう努めます。
- ・ユニット費 行事用（工作材料など）1, 000円／月
 日用雑貨 2, 000円／月

《ユニット8》

『一人ひとりに合ったケアを行い、安心して過ごしていただきます。』を重点目標として1年間ユニットスタッフで取り組みました。

- ・24Hシートの活用はできていませんが、変化があった際には職員同士で話し合い統一したケアができました。
- ・表情や小さなサインを見逃さず、入居者が笑顔で生活できる様に心がけました。
- ・職員一人一人が入居者の生活に気を配り、不都合ができた時にはスタッフで情報共有し、安心して生活が送れるように支援しました。
- ・ユニット費 行事用（工作材料など）1, 000円／月
 日用雑貨 1, 000～2, 000円／月

《ユニット9》

『入居者が満足し、安心した暮らしができるユニットづくり』を重点目標として1年間取り組みました。

- ・入居者との関わりの中で、個々のニーズを把握し、満足して頂けるケアに努めました。
- ・申し送りノートや24Hシートの活用により、スタッフ全員で統一したケアが提供できるようにしましたが、不十分な面もありました。次年度はスタッフ間の報告・連絡・相談を徹底していきます。
- ・定期的なユニットミーティングを業務上で開催できなかった為、スタッフ個々でコミュニケーションを図り、意見交換や情報交換を行いました。
- ・行事やイベントの参加で、入居者の楽しみや気分転換の機会を設ける事が出来ました。
- ・移乗リフトの導入により、入居者、介護者共に、より安全で安心した生活が送れるように努めました。
- ・ユニット費 行事用（工作材料など） 1, 000～3, 000円／月
 日用雑貨 1, 000～2, 000円／月

《ユニット１０》

『入居者の心身の状況に合わせて、一人一人にあったケアを行います。』を重点目標としてユニットスタッフ全員で取り組みました。

- ・ 24時間シートなどを活用し、入居者一人ひとりのケアを把握し、健康状態やニーズの把握に努め、ケアの見直しを行いながら関わりました。必要時にはカンファレンスなどを行い情報共有できる様にしました。
- ・ 行事や面会などの制限が続く中、行事などには積極的に参加を促し、変化のある生活を送れるようにし、ユニットでは、季節感のある装飾や昔ながらの生活雑貨、本などの設置を通して、日常に変化を感じられる様に心がけました。
- ・ 体調の変化や状況の変化に対応しながら、楽しみや、趣味などの継続、日々の生活の中で、洗濯をたたむ、干す等の軽作業の役割や生活環境を整えることで、家庭的な場面にふれながら過ごせるような関わりをを心がけました。
- ・ 今後も、小さな気づきをもとに、入居者一人ひとりの思いに寄り添えるケアができるように、しっかりと入居者、職員、家族と連携しコミュニケーションをとり、ケアの向上に努めたいと思います。
- ・ ユニット費用
行事用、アクティビティ用材料（工作材料・本など） 約1,000円/月
掃除、衣類補修、洗濯生活用品 約1,000円～2,000円/月
飲み物、し好品（行事用） 約500円/月
季節室内装飾等 約500円/月

〈別紙3〉 令和3年度 委員会活動報告

○ ケア向上委員会

《排泄・褥瘡予防ケアチーム》

『褥瘡ゼロ（今ある方は治す・新しく作らない）』を目標に、ブレーデンスケールやOHスケールを活用して褥瘡発生リスクの評価を行い、個別の注意点を委員会にて確認しました。

排泄ケアについては、排泄用品の個々の使用状況を調べ、注意点の確認を行いました。リフレスサポート講座参加者による伝達研修では、排泄用品を実際に身に着ける事で理解を深めました。

- ・ 委員会開催 12回/年
- ・ 褥瘡リスクアセスメント6回実施（更新を含む）
- ・ 施設内研修の開催

《認知症ケアチーム》

認知症委員会では、不適切ケアを行わないように働きかけ、職員のストレスを減らし、認知症の理解を深める事で適切なケアが行えるのではないかと考えました。

- ・ 認知症の種類別に理解を深めていく
まずはアルツハイマー型認知症について初期、中期、後期の症状などを詳しく理解できる研修を行う為に、ユニットごとに調べてもらいました。
2ユニットで1名ずつの対象者を決め、ユニットで気づきや思い等を話し合いました。
アルツハイマー型認知症のユニットの状況報告と個別ケアの状況報告をしました。

職員会議での報告

7月	ユニット7・8、9・10
8月	ユニット3・4、5・6
9月	ユニット7・8、9・10 (初期)
10月	ユニット3・4、5・6 (初期)
11月	ユニット7・8、9・10 (中期)
12月	ユニット3・4、5・6 (中期)
1月	ユニット7・8、9・10 (後期)
2月	ユニット3・4、5・6 (後期)

発表だけでは伝わりにくい為、どの症状がどの段階に分類されるかがわかる表を作成して分類の基準とし職員に周知しました。

- ・委員会開催： 9回/年

《看取りケアチーム》

- ・最期の時まで、入居者やご家族の気持ちに寄り添うケアの実践に向けて看取りケアの現状と課題について協議しました。
- ・「看取りケアマニュアル」を基に質の高い看取りケアの追及、多職種が連携して穏やかに旅立ちができるよう、事例検討や研修会を行いました。
- ・委員会開催：10回/年
- ・研修の開催 2回/年

○ リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会では『各報告書、事例検討の充実を行い、事故防止に繋げる』を目標に開催しました。ハット記録方法を検討し、日誌に毎日記載するように変更しました。ケアカルテの活用も行っています。年2回の全職員に対する研修にて事故、ヒヤリハットの件数及び傾向を報告し、共有しました。大きな事故（ストレッチャーから転落）があり、全職員で振り返りを行っています。

- ・委員会の開催～毎月第2火曜日 15：00～ ・全12回 開催
- ・研修内容の検討、ハットの実施方法の検討、半期・全期の事故報告
- ・事例検討～8回実施

転倒（洗濯物を取りに行つて）・足の爪を剥離・センサーの入れ忘れ・腕の表皮剥離
ベッドリモコンの断線・異食・肘関節の骨折・スタンディングリフトからのすり抜け

- ・事故の振り返り（グループワーク）

特浴時にストレッチャー間をボードで移乗を行うが、移動する側のストレッチャーのブレーキがかかっておらず、入居者が転落した。この事例について、全職員対象にグループワークを行った。

○ アクティビティ委員会

「生活意欲の向上や、楽しみ・喜びの持てるアクティビティを計画する」と目標を立てて、委員会メンバーを中心に、各部署、ユニットの協力を得ながら活動しました。コロナの影響で思うようにご家族と面会できない事や外部からの講師やボランティアをお願いしづらい事もあり、生活の活性化を意識して、外出支援や職員の特技や趣味を把握して、多くの活動を実施しました。定期的で開催している書道クラブでは、今年度も『ふれあい書道展』へ出展しました。又、地域の文化展に出展して、外出支援を行い展示している自分の作品を見学して、意欲の向上につながりました。

昨年に続き、『寿司ボランティア』来園は好評でした。今年度は栄養課と協力をして、全ての食形態の入居者・利用者に握り寿司を提供しました。「美味しい。」と、言いながら握り寿司を口にして表情は忘れられません。

8月に開催したアイスクリーム作りは、自分で作った事もあり好評でした。

入居者のしたい事の実現に向けて、リクエストカードを作成して、計画をたてて実行しました。

クラブ・行事企画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
書道	14	14	16	13	14	13	15	22	23	17	/	18	179
ガーデンランチ	14						12						26
アイスクリーム作り					20								20
フラワーアレンジメント					6								6
握り寿司フェア							105						105
初釜										35			35
カラオケ喫茶					10	16	14						40
わいわいクラブ						12		24					36
手芸クラブ								8	16		16		40
外出支援								3					3
リクエストカード				1	1	2		2					6

・手芸クラブ…スタンプハンカチ作り、クリスマス飾り（正月飾り）、絵手紙

◎リクエストカードの支援

ドライブ…6名（自宅：1名、自宅周辺：2名）

買い物…1名

・アクティビティ委員会：月1回開催 5～10名出席

○ 花と緑いっぱい委員会

今ある施設の植物を大切にすよう、水やり・草取りをフロアごとに分担して実施しました。

職員の協力を得て、水やりや植物の管理を行なう等、施設全体で取り組みました。

草取り実施表を作成し、各担当場所の草取り実施状況を把握して共有をしました。

- ・委員会開催： 8回/年
- ・毎週月曜日 水やり
- ・毎週火曜日 草取りを実施